

新記法會議事記

二十七年七月十

司法省

七年七月十二日

一前會に説キタル裁判入費ノ事ヲ説カニ

右四ヶ條に分カル

第百三十條ハ大要ヲ揚ク

第百三十一條ハ大要ヲ和ラケ模様ヲ付ケタルモ

ノナリ大略ニテ通りニ分カル

第百三十二條ハ代書師又ハ使吏ニテ我職掌ヲ

違ヘタルニヨリ原告被告人ノ害トナリタルニ付入

費ヲ^出償ス^ルヲ云ヒタル尤損害ノ償ニ觸ル^ルニ

ナシ

司法省

第百三十三條ハ代書師ノ為メ大ニ便利ナル

トシ説キタルナリ

右四ヶ條ヲ一々説カレ

一第百三十條ハ公正ノ法律ナリ

タトハハ被告人ニテ抗抵セサレハ早ク濟ムヘキ事

訟ヲモ其抗抵スル為メ長ク時日ヲ費ヤシ原

告人ニ害ヲ及ホスヲアリ又原告人ニテ願ヒ出テス

トモ願ヒキ^テ願出ラ^ル被告人ニ害ヲ掛ル^ル事

アリ此等ノ時ハ必ス一方ノモヨリ償ハサル可カラ

サルノ事ナリ

原告人ニテ訴訟ヲナス時前拂ナシ置タル金額

ハソノ●訴訟ニ負ケタルトキハ元ヨリ損トナリ

且被告ノ入替ヲモ拂ハサレ可カラサルナリ

一 代理人ハ義務ヲラサレナリ必ラスソノ代料ヲ取

ルト定メタルモノニアラス亦モ後ノ通り十五フ

ラシクノ謝金ハ代理人自カララシク取ラス 代理人ニ於テハ我レハ

之レ程ノシヤキ料ヲ取ルモノニアラスト謂フ 代書師ニテ取ルナリ

原告代理人ハ十五フランク位ニテ債權ニ得ルモノニアラ

ス故ニ相對シテソノ謝金ヲ定ムルナリ

一千八百零年代末一世ナホレオシノ時大彙集ノ時ハ

司法省

定マリタル 代理人ナシ 但其人ノ懇切ニテ代書ス 其時ハ十五フラン

ルト●之レアリ シクニテ債權ニ得ルナリ 其●●今ニ残リタル

ナリ爾後其謝金ノ額ヲ増スルナリ

陳端

日本ニテ目下代理人ハ此訴訟ヲ負負

ケタラハ一錢モ取ラス勝チタラハソノ訴訟

訟ノ金額ノ一割トカタ取ラレト約シ

證書ヲ作りテ掛ルモノアリソノ訴訟

ハ勝チタレハ代理人ハ一錢ヲ渡サス依

テソノ證書ヲ以テ代理人ヨリ訴訟へ出

ツルトキハ日本ニテハ取揚ケ裁判シテ
宜シヤ又ハ宜シカラサルヤ

訴訟ニ付テソノ金額ノ裁割ヲヤラント

約スルハ極ク悪シキコナリ何トナシハ多

數ノ金額ニテモ一席ニテ濟ムコトアリ

少數ノ金額ニテモ多クハ時日ヲ費

ヤスナリ故ニ元金額ヨリテ裁割

トソノ禮金ヲ定ムルハ佛ニテハ先年

ヨリ禁ムル所ナリ英ニテモ同様ト

思フナリ

司法省

代言人ノ禮金ニ付テノ訴訟ヲ禁ミタル

原由ハ萬一代言人ニテ訴訟人タルハ

被告人ニテ必スソノ代言人ヲ我カ意

ヲ貫徹シ得ル又ハ我カ思量モホド

ノ蒙者ニテモナカリモナト云ク人ニテ時

代言人ニテ我ハ充分ニテタリ裁判

官ノ思ヒキユハ負ケタリト云ヒ争フ

ソノ為メソノ人ノ面目ヲ失ハルユハ禁

シタリ

又勝訴訟ニ付テハ被告人ハ代言人ト

ヨロシキニアラス我カ證據ノ充分ナル
ヨリ勝チタリハト争フ惣へテ後來ノ
面自ニ関スルユヘ禁シタルナリ
佛ニテハ左モアルヘシ日本ニテソノ訴訟
ヲ取り揚ケテハ道理ニ適セサルハキヤ
惣テ契約ハ皆役ニ立ツモノ、ニニアラサル
ナリ代理人ノ契約ニナルモノニリアラス
日本ニテハ裁判言渡シノ第ニ裁判官
ヨリソノ訴訟ノ代理人禮金ハ何程
トソノ訴訟ヨリ言渡方宜シ

司法省

一日ニ付キ何程ト定メダラハ暫時ニテ濟
ムトヲモ長ク言フ可シ代理人ノ便利ナレ
トモ裁判官ノ甚不便利ナリ故ニ一日ニ付
何程トハ定メ難シ

元來佛ノ法宜シカラス右ニ付數説アレハ
先ツニタ通りヲ説カン

今ノ佛ノ法ハ十五フランクト定マリテ又之
レヲ取ラス更ニ訴フルヲ能フる餘リニ不
都合ナルヲヘ十五フランクト定メレト云フ
説アレハ五十フランクニ至ラサル事件モ

アリ又五十フラレクニ越ユル事件モアル可
シ不相當ナリ故ニソノ勞ヲヨリテ定ムル方
宜シ
元来訴訟難場局ハ料リ知ル可カラス之レヲ
料リテ前ニ定ムルニハ必ラス多數ヲ要スルモ
ナリ
訴訟ヲナスニ付キ稍ク代言人ヲ見付ケ
タリソノ代言人トナル可キモノニテ元金額
ノ五割ヲ出セト云フソノ時ハ之レヲ止ムル
ヤ又ハ頼マサルヲ得ス

司法省

最モ宜シキ趣向ハソノ裁判官ニテ權ヲ
持ツ方ナリソノ訴訟何程ノ難易アリ何
程ノ時日ヲ費ヤシ何程ノ勞アリト見
積リテ言渡スルキハ代言人ニテ何程
出セト云フ丁能ク
ソノ裁判所ノ特權ニテ控訴スル丁ヲ許サ
ル方ナリタトヒ控訴スルトモソノ上ノ裁
判所ニテハ顛末ノ分カラサル丁ナレハナリ
尤モ代言人ノ勝テタル者ト負ケタルトハ
區別セサル可カラサルナリ

又ソノ眞富ヲモ察セサル可カラサルナリ
之レヲ問フ所以ハ外國人ニテ多分ノ代
料ヲ書キ出ス者アルユヘナリ

ソレハ相當ノ所口ニ定メサル可カラス佛
人ナラハ佛ニハソノ法律ナシト言フ可シ英
ナラハ英ノ領事ニハ談シ相當ニ定ム可シ
先方ノ求メノ相當ナルトキハ之レヲ遣ル方ヨ
ロシ

佛人ニハ代言人ノ料トテハ遣ル可カラス損
害ノ償トシテ遣ル可シ佛ニモソノヨフナルイア

司法省

尤日本ニテハ未タ代言人ノ局トテハナシ
千八百三十八年四月十日ノ法律ニ首
タル訴訟ニヨリテ損害ノ償ヲ要ムルイハ
金高ニ拘ラス終審ヲナスイテ得ルト
定メタリ

何イテモ控訴ヲナスイテ得ルトキハ
亂窮アリナレ故ニ金高ヲ拘ラス之レ
ヲ終審スルヲ得

千二百ヲシテ訴訟ヲ終審スルニソノ

損害千五百フランレクナリト云レテ控訴
スル丁ニナル故ニソノ損害ノ償ハ終審ヲ
ナス

併シ事ニヨリ人ヨリ傷ヲ受ケタルニ付キ
控訴スル等ソレヲ許ス

千二百フランクノ訴訟ハ一旦終審ヲナシタ
ルモノナリ

傷ヲ受ケタルノ事柄ヨリ起リタルモノ
ナレハナリ

此法律アルニテ代理人ノ訴ハ取揚ケル
司法省

ナリ

代理人ニ遣ルト云フ丁ハ法律ニ立テヨト云
フ丁ニハアラサルナリ

大意裁判官ニテ特権ヲ以テ見積リテ言
渡シ控訴ヲ許サストナス方宜シ

ソノ高ヲ極ムルハ○出席幾日ノ金高何
程ノ事件ノ難易ノ法律ニ對シタル難
易ノ代理人ノ勞

此等條ヲ以テ立ル方

佛人ノ為メナラハ此ノ如ク言フ可シ

代官人ノ料、遺ルヲ得ス君カ國ニ
於テモ法律ニ於テ訴訟ヲ許サス相
當ノモノナラハ損害ノ償トシテ差出ス
シト云フ可シ

筭百三十一條

筭百三十條ニ對シニツノ和ラケアリ筭一
ノ下ハ親族訴訟ヲナス既ニ筭一ノ不
和ヲ生スノノハ費ニ付キ筭二ノ不和
ヲ生セサル為ニ銘々ト拂フ可シト言渡
ス

司法省

佛ニテハソノ訴訟ノ書付ケテ作ルニ付
多數ノ金ヲ要ス故ニ一方ヨリモ何
程カ出スヘシト言渡ス

一體本文ニテハ我カ遣ヒタル入費ヲ我
カ拂フヲナリ併シ一方ノモノヘ君ヨリ
モ少シク拂フ可シト裁判官ノ見込
ヲ以テ言渡スナリ

コンパンセイ

箕譯 消殺

原語ノ意ハ差引勘定ト云フナリ

本文ヲ此ノ如ク書ク可シ

若シ親族ニシテ訴訟ヲナシタルトキハソノ入費ハ各自ノ費用タル可シ

第ニ項ハ真ノ差引勘定ナリ雙方トモ一ヶ條ツテ勝テタルトキハソノ入費ハ真ノ差引勘定ナリト雖氏ソノ高カク見ルテ甚タ難シ

ダトヘハ予圓ノ訴訟ヲナスニ甲ニテハ五百圓ノ勝テヲナス乙ニテモ五百圓ノ勝ヲナストキ甲ニテハ六十フランクヲ出シ置キ

司法省

乙ニテハ四十フランクヲ出シ置キタル氏ハ十フランクヲ甲ニ渡ス等ナリ

ダトヘハ家ト地所ヲ要ムル訴訟ニ付キテハソノ高カラスソノ時ハ鑑定人ヲ用ユソノ鑑定人ニテソノ入費ヲ甚タ多クスル等アリ不都合ナリソノ時ハ裁判官ニテ見積ルナリ

若シ雙方トモ勝テタルトキハ三ツアリ

第一ソノ訴訟ノ勝高

第二入費ノ高

第百三十一條 出シ置キタル金高

之レヲ見極ムルハ所要ナリ

タトヘハ三分ノ二勝チタルモノハソノ入費ハ

三分ノ一ヲ拂ヒテ宜シ

第百三十二條

大意ハ自分ノ職務外ノコトヲ為シタルハ

裁判入費ハ勿論ソノ損害マテヲ拂ヒシ

ムルコトナリ

タトヘハ自分ノ職務ハ敬ス可キヲ使

吏ニテ怠タリプレクスプリクシヨシノ期限

司法省

ヲ過クル等之レナリ

民法チ三百七十二條ニアリ

誰レニテモ人ノ損害ヲナシタルモノハソノ償

ヲ出サハル可カラストアル原則ヨリ出ツル

ナリ

此條ハ代書師ノ便利ナル條ニハアラス

併第百三十三條ニ代書師ノ便利ナル

コトヲ云ヒタリ

訴訟ヲナスニ代書師ノミテハノ入費ヲ假

リ受取ヲナサス惣テ立替テ置クコトナリ

得意ノ為ニハ間々為スナリ

ソノ立替金ヲ為シタル上勝チタルトキ負
ケタルモノヨリ請取ルハ當然ナリ然ルニソ
ノモノハ勝チタルモノへ渡シタリソレモ勝チ
外債分散トナリタリソレモ付外債主ト平均
ヲ承ケサルヲ得スソレニテハ氣ノ毒ナルモ付ソ
憂テキ為メニ負ケ訴訟ノモノヨリ勝チ訴
訟ノ手ヲ經スシテ直チニ之ヲ代書師へ
受取ルナニ定メタリ

之レ真ノプレウレージナリ何トナレハ一旦勝者
司法省

ノ手ヲ經スシテ直チニ金額ヲ取レハナリ
プレウレージニ於テ氣ヲ付ケサルヘカラス
ソノ頼マレタルモノニ對スルニアラサレハプレウ
レージノ特權ヲ持セサルナリ
何トナレハソノ頼マレタル人ノ為メニ勤メ
且ツ前金マテヲ出シテ居ルユヘナリ之レハ
勝チ訴訟ノモノニ對スルナリ負ケ復訟
ノナリ於テハプレウレージノ特權ナシ何トナ
レハソノ人ノ為メニ勤メヲ為シテ居ラサル
ナリ

金ニ於テハ一ト度ヒ分散人ノ手ニ入レハプレウ
レシノ特權ハ無クナルナリ之レハソノ金ヲ
押ヘテ分散人ノ手ニ入レサルト同シナリ
第百三十三條

此條ハ即チ言フ所ノ代書師ノ立替タル
金ハ別ニナシ置クナリ言フ元トヨリ代書師
先キニ金ヲ出シ置カサレハ何事モナシ
右ハ裁判言渡ノ片一同ニ右ノ言渡ヲナス
可シトナリ

司法省

目ニテ云々本文ノ通りナリ若シ負ケタルモ
ノエテ出スナリ得サルトキハ本人ニ對シ訴フ
ルナリ得ルナリ

第百三十四條

此條ハ此所ニテラサルモ可ナリ夫婦別
居ノトキ養育料ノナリ付キソノ訴訟
ヲニツトモ裁判シ得可キトキハ一同ニナ
ス何トナレハニツキモセハソノ入費モ從ツテ
多ケレハナリ

百十八條十九條ノ次ニアル方ナリ

第百三十五條より第百三十七條までの肝
要ナリ

之レハ控訴ノ所ロニアリテモ若シカラス依
テ今日讀ミ妨レスハ控訴ノ所ロニテ讀ム
可シ

控訴ト云フハ裁判執行ノ中止ト云フナリ
何トナレハ控訴ニナレハソノ裁判執行ヲ中
止シテ居ルナリ併シ取除ケアリ何トナレハ直
チニ執行セサル可カラサルナリ直チニ執行ス
之レ取除ケナリ

司法省

控訴ハアレハ假リニ執行ハシム即チ假リ
ノ執行ナリ

假リノ執行ハ時ニヨリ替ルナレハ先ツニツ
ノ道理アリ

第一ノナリハソノ訴訟ニ付テ到底裁判ハ替
ルナラハマシトノ目的ノ立チタルトキハ假リニ
執行ス

第二ニ至急ノナリニ付テハ万一替ルナリ有ルモ
知ル可カラスト雖ハ事柄ノ至急ナルニ付キ
先ツ假リニ執行ス

第一ノ場合ニ於テ大畧替ラストノトキ假リニ
執行ヲ命シ第二ノ場合ニ於テ急ニ執行ス
ルト雖モ若シソノ裁判ノ後ニ替ルトキハ假
リノ執行ニヨリテ得タルモノヲ返サシメソノ
損害ノ償ヲモ出サシム之レニ及シ控訴ヲナシ
タリトモソノ裁判ノ替ラサルトキハ氣ノ毒
ナリ故ニ假リニ執行セシムルナリ

第一ノ道理ノ場合ニ於テ大概替ラサルトノ
目的アルトキハ証人ヲ立テシメス

第二ノ道理ノ場合ニ於テハ証人ヲ立テシムル
司法省

ト否ラサルトハ裁判官ノ見込ニナリ
之レ義務ニハアラサルナリ

何ノ為メニ此ノ如クスルトナルニ不正ノ心ヨリ執
行ヲ延ハス為メニ控訴ヲナスモノアリ徒ラ
ニ歲月ヲ美ス故ニ此法ヲ立テタルナリ

此條々ノ大意ナリ
第百三十五條

證金ヲ出サスシテ濟ムト三ツアリ

○公正ノ證書○一方ノ者ノ許認シタル約束
書○裁判言渡ヲ受ケテ控訴セサルトキノ

言渡

裁判官ハ下ヨリ願ハサルコトハ決シテ言渡
スコトナシ代書師ノ申立ニ必ラス公正ノ証書
アルコトハ此ノ如クシテ被下ト書イテアルナリ
公正ノ証書ニ於テハ裁判ヲ乞ハスシテ直チニ
執行シテ宜シト雖モ金額等ノ未タ定メ難キ
トキハ之レヲ執行証書ニハ書カスソノ時ハ
裁判所へ出シ裁判ヲ受ク

又公正ノ証書ナリトモ一方ヨリ偽りナリト
訴フルコトアリ之レハ裁判官ニテ取調ヘ裁判
司法省

コトナス右ハ控訴ヲナシタリトモ替ラサルモノ
トナス

一方ノモノ、許認シタルモノニテモ直チニ執
行スルコト能ハス裁判官ニテ執行ヲ言
渡ス既ニ許認シタル約束書ナレハ控訴
ヲナシタリトモ替ラサルモノトナス

炭三ノ所口ハ少シク分カリニクカラレ

縣裁判所ニテ訴ヲナシテ負ケタリ控訴
ヲナサスト雖モ未タ控訴期限内中ナリソノ
時一方ノ者ヨリ之レヲ執行ス可シト言フトキ

負ケ者ニテソノ裁判ノ惡シキト云テ之レヲ
執行セズソノ時ハソノ執行書キ付ケテ以テ
裁判所ヘ訴フソノ時ハ裁判所ニテ假リニ
執行ハシム

裁判ニ不服ナルトキハ控訴ヲナス可キニ控
訴ヲ為サス裁判書キ付ケニ對シテ苦情
ヲ言フトキノ事ナリ

當然ナラハ控訴ヲナスニ依リ待ツ可シト云テ
可キニソノ申命ニ對シテ苦情ヲ言フトキハ
控訴ノ期限ハアル可ケレトモ先ツ假リノ執行

司法省

ヲナス可シト裁判官ヨリ言渡スナリ以上
三ツノ場合ニ於テハ假リニ執行ヲナシタル
上控訴ヲナシタリ凡替ル憂ハナキモノナ
リ

此條ニ於テハ保證人ナクシテトアリ裁判
ノ權ニテ押付ル娑アルナリ

急キノ場合ニ於テハ保證人ヲ立テスニテ
言渡スナモアリ又ハ立ツルナモアルナリ

左ノ件々ハ至急ノ場合ニテ全ク裁判官
ノ見込ニテ為ルナリ

左ノ件々ハ本文ノ通りナリ

願ヒ出テタルモノ、身代宜シカラサルトキハ保
證人ヲ立テ身代宜シクシテ金ノ差支ナキト
思フトキハ立テス

件々ハ一々説カストモ分カリ居ルナリ
第百三十六條

養料

此條ハ一トタヒ裁判ヲナシタル上ハ加フル
トモ減スルトモナラサルノ原則ヨリ出ツ
併シ若シ原被告ノモノ控訴ヲナシタル上

司法省

控訴廳ヨリ假リニソノ執行ヲ言渡スコトヲ
得ルナリ

第百三十七條

裁判入費ノトニ付テハ假リノ執行ハセシ
メス之レハ至急ノトニハアラサレハナリ
若シ控訴ノアルトキハソノ濟ムマテハ待タ
サルヲ得ス

出席裁判言渡シハ之レニテ済ムナリ
後會ハ第第八章第百四十九條及第
裁判及ヒ故障ノトニツク可シ

司法省

訴訟法會議筆記

十一月三十日

司法部

七年十一月三十日

訴訟ヲ為ス最中ニ原告人ニテ被告人ノ財産ヲ
抜カサントノ憂アルトキハ之レヲ裁判所へ願
ヒ差押エルトハ出来ヘキヤ
一時ノ差押ハ出来ルナリ
其キハ原告人ニテ証拠金ヲ出スヘキヤ
出スニ及ハス之レハ裁判所ニテ相当ト見込マ
サレハ之レヲ許サス且ツ動カサ、ル迄ニテ財
産ハ被告人ノ手ニアルナリ
其時ハソノ財産ヲ取調フヘキヤ
之レハ原告人ヨリ裁判長官へ願出タルトキ長
官ニテ被告人へ通シ長官評議席ニテ之レヲ取
調ヘ差押ヲナス

司法省

其時ハ原告人ト一同ニ取調フヘキヤ
尤双方一同ニ為ス候シ本人ハ行カス代書人ニ
テ之レヲ為ス
其手續ハ法律ニ書イテアリヤ
訴訟法中ニ其綱領ヲ挙ケタリ
第五百五十七條才五百五十八條ヲ見ルヘレ尤
モ本文明瞭ナラス法律ノ申明ヲ以テ補足スル
ナリ
ソノ一時ノ差押ハソノ財産ヲ賣却スルニアラ
ス万一之レヲ賣ルトキハ証拠金ヲ出サ、ルヲ
得サルヘシ
裁判ノ寸ノトリ押ヘハ執行ニ付テノトリ押ヘ
ナリ

一時、美押ハ財産ヲ保全スルヲナリ

第八章

杭傳英ニ故障

第四百九條

原被双方出席ヲ為シ被告人ニテ已レノ意ヲ述
ヘタル後ニ裁判ヲ為スヲ

シゴジマンコインタラリユクトアール

双方出席ノ裁判

之レハ双方共已レノ意ヲ述ヘ戦ヒタル後ニ裁
判スルト云フ意ナリ

双方已レノ意ヲ述ヘタルノ午ニ裁判スルト云
ハハ分明ナリシカシ仏ニテ左ハ云ハス即ハ午
双方タ、カヒ争ヒタルノ午ニ裁判スルト云フ
ナリ

司法省

仏國ノ法律語ニ不都合又ハ不当ノ語アリウハ
シエーナトハ是夕當テサル語ナリ故ニ日本ニ
テ法律語ヲ定メント欲セハ相当セル語ヲ撰ム
ヘシ

ウエシエハ門ヲ守ルト云フ義ナリ

然ルニ決シテ門ヲ守ルモノニ非ス一体ウエシ
エハ裁判所ノ門番ナリ

而後追々肝要ノ職務ヲ掌ルトナリタリ依シ
名ハ四名ヲ存セシナリ

佛ノ各省等ニカナラスウエシエナルモノアリ
局々入り口ノ番ヲ為ス之レハ相当ノ名ナ
リ

才一ニ相当ノ語ハ双方争ヒノ終リタル後裁判

スルト為ス方ヨロシ原語ニユレヤンテバ千六
一欠席裁判ノ語ハ相当セリ

ジユジユンパールデホー

呼出ヲ欠ク

欠席ト云フコニシテニツノ區別アリ

第一ニハ代書人ヲ立テサルモ

才ニニハ代書人ヲ立ツル氏見込書ヲ出タサ、
ルモ 見込書

第二ノモノハ呼出テ受ケテハ居ルナリ

コンクリシヨシハ原告人ハ手續書又道理ヲ書
之レニ仍ツテケ様々々ニ被告人ヲ罰シテ被下
ト云フ書キ付ケナリ

又被告人ヨリハケ様々々ノ手ツ、キ道理ナレ

司法省

ハコノ訴訟ハ御取上ケナク訴訟入費ハ原告ヨ
リサシ出ス様御達シ被下タクト云フ書キ付
ケナリ

即千裁判ノ雛形ナリ

此書付ヲ出セハ直ニ裁判ヲナスナリ

タトヘハ被告人ノ出席セシキ法ニ從ツテ原告
ニテ裁判所へ出コンクリシヨシヲ讀ミ上ケル
ルナリ其氏被告人居ラサルユヘ裁判官ハ原告
人ノコンクリシヨシノ通りニ裁判ヲナス百四
十九条ハ六ケニキコナシ被告人ニテ代書師ヲ
任スルコナリ

又任シタリ氏本日出席セサルキハ其任ニテ裁
判ヲナス

（デホー）
欠ク

原語此ノ如シ仍テ抗傳ト云フヨリハ欠席ト云フ方ヨロシ
代書師ヲ立テス代書師出席セス抗スルノ模様意味アリシカシ裁判官ノ言渡シニハ關席ナリト云フナリ
第百五十條ニ云フ如ク使吏被告人代書師ノ姓名ヲ讀ミ上ケタル上之レヲ為ストアレトモ佊ノ裁判所ニテ夫レ等ノ手ツ、キハ為サズ欠席スレハ直キニ裁判ヲ言渡スナリ
然レトモ裁判役ハ云レソノ証書類ヲ書記局ニ出スヘキ云々アレトモ之レヲ為レタルコトハ

司法省

絶テ無之

候レナカラコソクリシヨニニ法律ニ違フタル不都合ナルコトアレハ其違フタル丈ケノコトヲステ、裁判ヲ為スタトヘハ五分六分ノ利足ヲハ五分ニ書キタルトキハ五分トカ六分トカニ定メテ裁判ス
欠席ニニ夕通りアリ代書師ヲ立テサルコト代書師ノ出席セサルコトハナク
第一ノ代書師ヲ立テサルモノハキニヨリ呼出状ノ達セサルモノアリ
第二ノ代書師出席セサルモノハ呼出ヲ受ケテアレ氏書付ヲ出スコトヲ欲セサルナリ
故ニ故障ヲ述フルニ付テハ才一ノ方ニ最モ意

ヲ注スヘシソノ意ニ注スヘキコトヲ説カント
ス

此所ハ被告人数人アリ又ハ数人連帯ニテ負債
主トナリタルトキ一人ハ東京中ニ居リソノ他
ノ人ハ近在ニ居ル各々裁判所ノ距離違フトキ
東京ニ居ルモノ、出席スヘキ日ニ欠席スルト
モ欠席裁判ハ為サス近在ニ居ルモノ、出席ス
ヘキ日ニ欠席シタル日ニ欠席裁判ヲ為ス
一人ハ東京ニアリ一人ハ大坂ニアルトキ一人
東京裁判所ヲ撰ミタルトキハソノ一人ノ大坂
ニ居ルモノ、東京へ出ルマテマダサルヲ得ス
第百五十二條ハ入費ノカ、ラサル為メ裁判言
渡書ヲ一枚ニテ済マス莫ナリ然レ氏若シ數枚

司法省

ノ言渡ヲ作りタル時ハ代書師ニテソノ費用ヲ
払フベキコトヲ云フナリ
欠席裁判ヲ被告人数人アリ氏其言渡届ハ一枚
ト為ス規則ナリ万一一人毎ニ言渡書ヲ取ルキ
ハ之レハ代書師ノ好ミナルヲ以テ其一枚ノ外
ノ入費ハ取ル莫ヲ得ス
時ニヨリ裁判官ニテ之レハ一枚ニテ宜シカル
ヘレト云フコトアリ其時ニ代書師ハ數枚ヲ乞フ
コトアリ其時ノコトナリ

第百五十三條

被告人二人アリ一人ハ出席レ一人ハ欠席スル
ニ一人ハ欠席裁判ヲ受ケ一人ハ出席裁判ヲ為

其時一人ハ勝チタリ
一體売人ハ欠席裁判ヲ受ケ一人ハ勝ツトハ之
レ全ク無キノ理ナリ
此不都合ヲ避ルカメニハ売人ノ出席シタル人
ノ訴ヲ聴ク其之フ所口道理アレハ勝チトナレ
ソノ売人勝チタル上ハ其欠席シタル人迄モ勝
トナレ
此ノ如売人出席シタルカメニ欠席人ノ利益ト
ナル
之レニ及シテ欠席人損ナレトアリ其出席シタ
ル人ノ負ケタルキハ欠席シタル人モ負トナル
一人出席シタル上ハ欠席シタル人ニテ故障ヲ
云フトヲ得ナルニ至ルナリ

司法省

此ノ如キ不都合アルエヘニソノトキニ欠席シ
タル人ハ關席ノ言渡ヲ受ケ一人ノ出席シタル
人ハトリ調ヘナサス更ニ後ノ日ヲ定メテ呼出
ス
其後ノ日ニ至リテ売人欠席スル時ハ欠席裁判
ヲ言渡スナリ而シテ其人ハ故障ヲ速フルトヲ
得サルナリ控訴スルハ得ル事非ス
譬ハ名村ト池田ト被告トナリテ玉乃ニ呼出
サル
名村ハ出席シ池田ハ欠席セリ
ソノトキハ名村ハ出席スルエヘ裁判ハ為サス
池田ハ欠席ト言ヒ渡タカレ共ニ再ヒ呼ヒ出タ
サル

再ニ別段其ノニ係ル「ウエシエコシニ」ト云フ
使吏ニテ呼ヒ出ス

其時池田又欠席ヲ為ス其時ハ名村ハ出席シタ
ルユヘ池田モ共ニ出席裁判ヲ言渡サル依テ一
方ハ欠席一方ハ出席ノ裁判トナルノ不都合ナ
シ

大略ヲ言ヒタリ猶又大畧ヲ云ハシ

委敷書クニ及ハス

被告人兩人アリ尙人ハ出席シ一人欠席ス其片
ハ欠席セシモノハ欠席ト言渡ス

此條ハタトニ呼出状ハ達セステ欠席スルト
モ夫レニハベツニ関係セステモテモテニ條ナ
リ

司法省

一體欠席ヲ為シタルトキハ裁判官ニテ呼出ノ
達セサルモノト見做ス然レトモ呼出ノ達セス
トハ書カス再度ニハ別段ニ任シタル使吏ヲ以
テ呼出状ヲ達スルナリタトヘハ前度ハ名村カ
出席シ池田欠席シ再度ハ池田出席シ名村欠席
スルトモ同漸ナリ

被告人五人アルキハ代書師一人ニ任シテ足ル
ヘキヤ

衆ハス五人アル片ハ尙人宛任セサレヲ得ス但
シ五人ニテ銘々入費ヲ出シ代書師一人ハ任ス
ルハ苦シカラス

其訴状ハ一通ニテ足ルヘキヤ

同シナレハ一通ニテモヨシ誰々ハ何廉ノ三

違フト書ケハ又一通ニテヨロシ

此原文ハ明瞭ヲ欠ク其作ノ訳文ハ餘程補セタルナリホアツナト我カ意ヲ以テスル時ハ別ニ書キ方アリ他日書キテ示スヘシ
此条ハ佛国ノ諸生ハ解シ得ス因テ生徒ヲ試験スル條トナスナリ

第百五十四條

此條モ亦解シ難キ所アリ

原告人ノ欠席シタルト云フナリ
原告人ハ代書師ヲ立テサルノト無シ仍テ欠席スル故原告人ノ欠席ハエシクヨシ出サハルト云フ

原告人ノ代書師ハ欠席シテ見込書ヲ出サス被

司法省

告人ハ代書師ヲ立テ見込書ヲ出スコノ場合ニ
ライテハ原告人ノ願ハ取り上ケスト言渡スコトモアリ被告人ハ用事ナシト云ヒテ追還スナリ

此ニツノ中一方ニ決セサルヘカラス此ニツヲ
若シ追還サルノミニテハ被告人ハ何時マテモ引カ、リテ迷惑ヲ為スナリ仍テホアツソナリト案スルニ才百五十條ニ循ヒ原告ナリ被告ナリ欠席シタルキハ一旦欠席裁判ヲ為シ後ニ

故障ヲ云ヒ立ツル方ヨロシ
被告欠席シタルキハ欠席裁判トナシ原告欠席シタル時ハ取上ケスト為ス

第百五十條

原文ニハ原告被告ト區別セス双

違フト書ケハ又一通ニテヨロシ

此原文ハ明瞭ヲ欠ク眞作ノ訳文ハ餘程補セタルナリホアツナト我カ意ヲ以テスル時ハ別ニ書キ方アリ他日書キテ示スヘシ
此条ハ佛国ノ諸生ハ解シ得ス因テ生徒ヲ試験スル條トナスナリ

第百五十四條

此條モ亦解シ難キ所コアリ

原告人ノ欠席シタルト云フナリ
原告人ハ代書師ヲ立テサルノト無シ仍テ欠席スル故原告人ノ欠席ハエシクヨシク出サレト云フ

原告人ノ代書師ハ欠席シテ見込書ヲ出サス被

司法省

告人ハ代書師ヲ立テ見込書ヲ出スコノ場合ニテイテハ原告人ノ願ハ取り上ケスト言渡スコトモアリ被告人ハ用事ナレト云ヒテ追還スナリ

此ニツノ中一方ニ決セサルヘカラス此ニツテ若シ追還サルノミニテハ被告人ハ何時マテモ引カ、リテ迷惑ヲ為スナリ仍テホアツソナリト案スルニ才百五十條ニ循ヒ原告ナリ被告ナリ欠席シタルハ一旦欠席裁判ヲ為シ後ニ故障ヲ云ヒ立ツル方ヨロシ
被告欠席シタルキハ欠席裁判トナシ原告欠席シタル時ハ取上ケスト為ス

第百五十條 原文ニハ原告被告ト區別セス双

方ノモノト書イテアルナリ

司法省

訴訟法會議筆記

七年十二月廿日

司法省

第百五十五條

此條ハ種々ノ下ヲ述ヘタルモノニテ頗ル混雜セリ一々之レヲ分鮮セサルヘカラス

關席裁判ハ故障ヲ述ヘテ裁判取直シノ出表ルモノナリ

尤モ夫々ノ區別アリ

關席裁判ハ暫時裁判ヲ言渡シタルモノト同シ

關席裁判ニモセヨ其言渡書ハ一方ヘ送達セサルヘカラス

司法省

其送達セサル間ハ故障ヲ述フル期限ヲ生セス此條ニ區別スル如ク若シ被告人代書師ヲ立テタルトキ始末書ヲ出サスシテ欠席裁判トナリタル言渡書ハ其代書師ヘ送達ス若シ代書師ヲ立テサルトキハ被告人ヘ直子ニ送達ス

始末書ヲ出サスシテ欠席裁判所トナリタル言渡書ヲ送達シタルヨリ八日ヲ過クレハ故障ヲ述ルヲ得ス

其八日ヲ過キサル間ハ一時執行ヲ停止ス其八日ヲ過キタル後ニ執行ヲ始ム

若シ代書師ヲ立ツルトモ始末書ヲ出スコトヲ怠
タリタル為ノニ闕席裁判トナリタル時ハ八日
ノ期限内ニ故障ヲ述ヘサル可カラス其期限ヲ
過クレハ其訴訟ヲ取り上ケス
其八日ノ間ハ被告人ヨリ故障ヲ述フルヲ得ル
ト雖モ其間ハ原告人ニテ執行スルコトヲ得ス
第百五十七條見合
其八日ノ期限ヲ生スルハ裁判言渡シノ日ヨリ
生スルニ非ス原告人ヨリ被告人ヘ送達シタル
日ヨリ算出スルナリ

司法省

言渡書ヲ送達スルハ始終後レ勝チナリ何トナ
レハ繁忙ノ裁判所ハ本文并寫シ等ヲ作ルニ早
速ニハ出来難シ多クハ十日位ヲ費ヤスナリ之
ヲ送ルハ吏使ナリ
八日ト言フト雖モ其実ハ滿八日ナル故即チ十
日トナルナリ
代書師原告人ト相談シテ之ヲ送達セヨト云
ハサル間ハ使吏ハ之ヲ送達スルコトヲ得ス
其言渡書ハ書記官ヨリ代書師之ヲ受取りテ使
吏ニ渡スナリ

タトヘハ原告人ニテ湯沼ニ行カント欲スルト
キ關席裁判ヲ言渡シテリ其時直子ニ之ヲ被告
人へ送達スル時ハ其故障ニ付テ争ハ他行留守
中ニ始マル譯ナリ其場合ニ於テハ原告人ニテ
湯沼ヨリ歸リタル後之ヲ送達セヨト言フテア
リ

司法省

代書師ヲ立テスニ欠席裁判トナリタル分ハ違
フナリ之ハ六ヶ月中ニ執行ヲ為サ、ル可カラ
ス何トナレハ被告人ニテ一切知ラスニ居ルモ
亦知ルヘカラス其六ヶ月期限、算出ハ其裁判
言渡ノ日ヨリ生ス

代書師ヲ立テタル分ハ何時マテ之ヲ猶豫スル
テ得ヘキヤ

三十ヶ年間ハ若シカラス

代書師ヲ立テ、見込書ヲ出サ、ルテ付再ヒ

説
カン

原告人ニテ言渡書送達ヲ永々延引スルニ於テハ被告人甚々迷惑ヲ蒙ルナリ其時ハ被告人ヨリ故障ヲ述フルナリ

一方ハ二十年一月ハ六月ト相違スルハ人民ノ為メニ便益アルナラン之ハ何レノ譯ナリヤ

第百五十六條ヲ説ケハ分明ナリ

假リニ裁判ヲ行フト一寸置キテ第百五十六條ヲ説カントス

第百五十六條

司法省

始末書ヲ出サスニテ 闕席裁判トナリタル時又代書師ヲ立テスニテ欠席裁判トナリタル時此ニツノ間ニ三ツノ大切ナルトアリ 即チ此條之ナリ

之ハ被告今保護スルヨリ起ルナリ 被告人ニテ代書師ヲ立テサルハ 即チ呼出状ヲ知ラサルト看倣スナリ

始末書ヲ出サ、ルハ 呼出状ヲ知ルニ相違ナシ 仍テ何レニ便益アリヤト云フ時ハ 呼出状ヲ知ラサル方ニ多クアルヘシ

第一

呼出状送達ノ方法

代書師ヲ立テス闕席裁判トナリタル時ハ此條ニ依テ如ク裁判所ヨリ別段ニ使吏ヲ命シテ送達ヲ為ス

其使吏ハ裁判所ニ居リテ裁判所中ノ事ヲ熟知セルモノナリ其中ヨリ選ミテ之ニ命ス一ヶ年裁判所へ出テ勤ムルトニ定マリタルナリ又ハ其頭ヨリ即チ頭ヲ選ムトモアリ特ニ之ニ命スレハ被告人ハ再ヒ間違ナリ候ニ

司法省

之ヲ違スル為メナリ

第二

第百五十八條ニアリ之ヲ讀ム

始末書ヲ出サスシテ闕席裁判トナリタル時ハ八日内ニ非サレハ故障ヲ述フルヲ許サス代書師ヲ任セスシテ闕席裁判トナリタル時ハ執行ニ至ルマテハ故障ヲ述フルヲ許スナリ此ニツノ相違スル道理ハ代書師ヲ立テサル裁

判ヲ言渡シタルマテノミニ非ラス執行中財産ヲ質却中ト雖モ故障ヲ述フルト苦

シカラス

第三ニ

一般ノ法ニヨレハ三十年ハ期滿得免ノ期限ナ
リ代書師ヲ任シテ闕席トナリタル言渡書ハ原
告人ニテ三十年之ヲ握リテ送達セストモ苦シ
カラス

代書師ヲ立テス闕席スルモノヲ三十年ノ期限
ト定テ其三十年目ニ故障ヲ述フルノ道理アリ
ト雖元証書並証人モ或ハ無ク實際ノ証ヲ立テ
得サルトモアルヘキナリ

司法省

其時ニ至リテ受取証書等ヲ失ヒ被告人ノ迷惑
トナルト多シ

仍テ法律上ニテ六ヶ月間ト定ムルナリ六ヶ月
間ナレハ象証モ存在シテ被告人ニテ辨解スル
トヲ得ルナリ

但三十年ハ被告人ニテ之ヲ拒クノ權アリトス
ルノミ

以上三ツノ違ヒアルナリ
再ヒ云フ

第一ハ別段ノ使吏ヲ命シテ言渡書ヲ送達スル

第二八日ノ期限ノ後ト雖モ故障ヲ速フルコトヲ得ルコト

第三ハ代書師ヲ立テサルモノハ裁判執行コトハ故障ヲ速フルコトヲ得ルコト

一方ハ三十年コトモ送達セストモ苦シカラズ一方ハ六ヶ月間ニ送達セサレハ言渡ノ効ナシ

代書師ヲ立テサル方ヲ注意シテ保護スル者ハ其呼出ノ達セサルモノナリト看做スユヘナリ

順席ニヨリテ次條ヲ説カサルヲ得ス

司法省

第百五十九條

此條ノ大意ヲ云ハシ

代書師ヲ立テスシテ欠席裁判トナリタル時ハ

其執行中ハ故障ヲ速フルコトヲ許スト云ハ其速フルコトヲ得サルハ何レノ時ヨリ始マルト云フ

コトヲ説キタルモノナリ

裁判執行ノ終リタル期限ハ

被告人ノ動産ヲ抵償トシテ取押ヘタルノミニ

テハ執行ノ濟シタルモノニ非ズ之ヲ賣拂ヒタル

時ハ濟ミタリトナス但其代價ヲ受取ラストモ同

シ苦シカラス

何トナレハ自己ノ財産ヲ人ニ取ラレテ賣ラル、
トヲ知ラサルノ理ナシ然ルニ賣拂ヒタリトモ
黙スルハ自己モ承諾スルト者做スナリ

禁錮云々ハ佛國ニテ之ヲ用ヒタルトキ立テタ
ル法ナレハナリ今ハ之ヲ廢止セリ

之ハ原告人ニテ被告人ヲ禁錮セシムルマテ黙
スルノ理ナシ仍テ之ヲ承諾セシト者做スナリ
或ハ被告人他ノ負債ノ為メニ禁錮セラレタル
時一人ノ原告人獄ノ書記局ヘ行キ其被告人ヲ

司法省

呼ヒ書記役ニ云フテ曰即今ノ禁錮ノ終リタル
時直ニ此人ヲ獄ヨリ出スヘカラスト云フ其
時被告人ニテ原告人ノ面前ニテ故障ヲ述ヘサ
ルヘカラス

不動産ハ之ヲ賣却スルヲ待ツニ及ハス使吏ニ
テ之ヲ差押タリト云ヒタル時故障ヲ述ヘサル
ヘカラス

或ハ自カラ裁判入費ヲ拂ヒタル時

又何事ニ關セス被告人ニテ裁判ノ執行ヲ了知
シタルトノ分明ナル所為ヲナシタルトキ

此未段ハ大體ヲ説キタルモノナリ
故ニ例ヲ擧サレハ了解スルヲ難カラン
各村負ケ被告人ナリ以上ノ四件ハ自己ノ為メ
ニナシタルトナリ然ルニ各村ヨリ玉乃ハ貸金
アリ原告人ノ小田切ヨリ玉乃ニ云ツテ曰君各
村ヨリ借金アリ之ヲ各村へ拂フベカラスト之
ヲ取押へ其昔ヲ各村へ通知ス其時各村ニ於テ
故障ヲ述へサル可カラス
以上ニ擧ケタル期限ヲ過クレハ故障ヲ述フル
トヲ得ス

司法省

若シ故障ヲ述へタル時ハ其執行ヲ止ムヘキナ
リ
眞譯ノ前數條ニ定記内ハヨロシカラス故ニ
朱ヲ以テ抹ス
ホアツク曰眞譯ノ悪キニ非ラスコトノヨロ
シカラスナルナリ
ホアツクナード曰上ニ述へタル執行ノ未タ終ラ
サル以前トナス方ヨロシ
此未段ヨリ遙カニ第百五十五條ノ後項ニ應ス
闕席裁判トナリタル者ヲ假リニ執行ヲ命スル

トアリ之ハ至急ノ事件ニ非ラサレハ為サス
第百五十五條前項ノ但書ヲ見ル可シ

此但書ヲ文面ニ關セス説カン之ヲ聞テ而シテ
後ニ文面ヲ讀ム可シ

裁判執行ヲ中止スルハ二ノ場合アリ一ツニハ
八日以内ニハ故障ヲ述ヘサルトモ執行スル
ヲ得ス之一ツナリ

若シ相當ノ期限内ニ故障ヲ述フル時ハ執行ス
ルヲ得ス之二ツナリ

此時ニ當ツテ至急ノ場合ニハ執行ヲナスヲ得

司法省

サルノ期限ト雖モ之ヲ執行スルヲ得

タトヒ至急ノ場合ト云フトモ第百三十五條ニ
記シタル場合ニ非サレハ之ヲ為スヲ得ス

裁判官ニテ至急ノ場合ト思フ時ハ執行ヲ言渡
ス併シ至急ノトニテモ八日ノ内ニ故障ヲ述フル

時ハ之ヲ執行スルヲ得ス

至急ノ場合ヨリ又更ニ一層至急ノ場合アリ之
ヲ大至急ト云フヘシ之ヲ猶豫スルトキ損害ノ

起ルヲナリ其時ノ故障ヲ述ヘタリトモ之ヲ執
行スルナリ

前項ノ但シ書ハ故障ヲ述フレハ之ヲ中止スト
至モ後項ノ方ハ夕トヒ故障ヲ述ヘ夕リトモ執
行ス尤モ故障ヲ述フレハ後ニ取直シノ出来サ
ルコトハナケレドモ先ツ執行セシムルコトナリ
至急ノ場合ノ例ヲ擧ケン

第一ノ至急ハ

縦合ハ家ヲ借リタルニ風雨ノ為メニ家ノ破損
アリ家主之ヲ修復セス仍テ之ヲ訴タリ其時裁
判官ニテ八日内ニ執行セシムルナリ

前項ノ分ニハ故障去々ト書イテ無之故ニ故障

司法省

ヲ速フレハ其執行ヲ中止ス

又夕トヘハ前文ノ場合ニ於テ屋根ヲ総テ吹飛
ハシテ身ヲ容ル所コナシ其時ハ故障ヲ述フル
ト雖モ之ヲ執行セシム之レ大至急ナリ

又縦合ハ家ヲ建テ掛ケテアル時大工ニ命シテ
材木ヲ運ハシム其遷延スル為メニ家ヲ建ツル
コトヲ得ス其時ハ至急ナリトス

然ルニ其材木ナケレハ既ニ建テタル家マテモ
壊ルバコトナリ之レ大至急ナリ

又大工ニテ家ヲ建ルニ家ハ既ニ建タルニ屋根葺

来ラス仍テ既ニ建タル家モ朽腐スルコトアリ之レ
大至急ナリ

又大工ニ命シテ家ヲ一軒建テシメタリ然ルニ
其家ハ更ニ建添ヘキモノアリ大工之ヲ建テ添
ヘス之至急ナリ併シ屋根ヲ葺カサル如キモノ
ニアラス尋常ノ至急ナリ

尋常ノ至急ノ時ニハ八日ノ期限内ト雖モ執行
セシム其執行中ニ故障ヲ速フルモノアレハ之
ヲ中止併シ其損害ノ他ニ及フト思量スルト
キハ大至急トナシテ假リニ執行セシム

司法省

裁判官ノ見込ニテ被告人ノ勝子トナルト思フ
時ハ保証人ヲ立テシメテ假リニ執行ヲ命スル
コトアリ

仍テ第百三十五條ニ照合シテ見ルトキハ分明
ナリ

第百三十五條ノ記スル所ニアラサレハ至急ト
ハ為サルナリ

第百三十五條ニ七箇ノ目ヲ立テ、アリ其七目
外ニ三箇アリ合セテ十箇トナスナリ

此至急ト大至急トノ区別ハ佛人ニ於テモ甚ク

誤リセスニ書キ直サ、レハヨロシカラス
第百五十六條以下ハ故障ヲ速フル法式ナリ
第百五十五條ヨリ第百五十九條マテハ肝要ナ
ルナリ注意スヘシ

前ニ説キタル三十年期限ハ何ノ法ニ基クヤ
貸借ノ一般期限ヨリ生ス

法律ニ於テ其期限ノ年月ヲ記セサルモノハ總
テ三十年ト心得ベシ

如何ナル小區ニテモ代書師ナキ地ハナシ代言
人無キ所ハアリ此ノ如キモノハ代書師ニテ代

司法省

言人ヲ兼ルナモアルナリ

假リニ裁判言渡ノ方ニ成リ丈ケ早ク故障ヲ速
タトヒ執行ハ中止セストモ速ニ速フヘシ時ニ
ヨリテハ執行中ト雖モ裁判ヲ取直スナリ
此假リ執行ノ取直スハ何ニ依ルトナレハ即チ
裁判取直シニ依リテ替ルナリ故ニ成リ丈ケ早
ク速ヘサルヘカラス

司法省

訴訟法會議筆記

十二月十日

司法部

第百六十條 被告人ノ代書師出席セス出席ス
ル由論辨ヲ為サスシテ被告人缺席トナリ裁
判言渡ヲ受ケタル時ハ其代書師ヨリ相手方ノ
代書師ニ裁判所ヘノ願書ヲ送達シテ其故障ヲ
述フ可シ

故障ヲ述フルニハ必ラス書付ヲ出サ、ルヲ
得ス之レヲ訴ト云フソノ「ケート」ニ二種ア
リ

其譯願書即チ願書ニテラヨロシ
裁判所ヘ願フトキハ訴トナル

司法省

第一ニハ裁判長官ヘ直チニ出スモノナリ第
二ニハ別ナルモノアリ

其直チニ出ス「ケート」ハ至急裁判ヲ乞フト
キ出席ノ期限ヲ延ストキ式日等ニ呼出状ヲ
送達スルトキノ三ツナリ

今説カントスル所ノ「ケート」ハ第二ノ別ナ
ルモノナリ

同シク「ケート」ト云フト雖氏之レハ裁判長
官ヘ直チニ出スモノニアラス

此「ケート」ハ一方ノ代書師ヨリ一方ノ代書

師へ送ルモノナリ之レヲ扱フモノハ使吏ナ
リ其使吏ハ裁判所ノ訟庭ノ下ヲ取扱フ使吏
ナリ之レヲ代書師ヨリ代書師へ送達スル所
ロノレケートト云フ

此時ハ必ラス代書師ノアルトキノ下ニテ即
チ^註未^註書ヲ出サハルトキニ限ルナリ代書人
ヲ任シ

タリトモ出席セ
サル下ヲ云フ

眞譯出席セス云々ノ下ナレ氏原文ニハ之レ
ナシ

其レケートヲ原告人ノ代書師ヨリ被告人ノ

司法省

代書師へ送り缺席裁判トナリタル下ヲ知ラ
セタル時被告人ノ代書師ヨリ故障ヲ述フル
書付ヲ原告人ノ代書師へ送達スルナリ

其レケートノ宛所ロハ裁判所宛ナリ

此レケートヲ送リタルトキ双方ノ熟議トナ
ルトキハ夫レニテ^注府ハ萬一方ノモノニテ
不承諾ナルトキハ裁判所へ出テ帳簿へ書キ
入レ本日ニ至リ裁判所ニテ争ヲ為スナリ

故障ヲ述フルニ於テハ裁判所ニテ之レヲ聽
カサルヲ得ス故ニ裁判所へ豫シメ願ハス先

ツ一方ノモノヘ見スルナリ之レ古来ノ習慣ナリ

故障ヲ述フルハ裁判言渡書ヲ勝テ訴訟即チ原告人ノ代書師ヨリ被告人代書師ヘ送達シタル日ヨリ八日ノ期限内ノ内ニナス可シ答辯書ヲ送ルハ十五日ナリイツレモ之レヲコレケ
トト云フナリ
之レモ直ニ裁判長官ニ差出スニアラス代書師ヨリ代書師ヘ送ルナリ

第百六十一條 其願書ニハ裁判言渡ニ付キ故

司法省

障ヲ述フル憑據ヲ記ス可シ但シ其裁判言渡ノ前既ニ被告人ノ答辯書ヲ故障ヲ述フル憑據トシテ用ヒントスルヲ記スルノミニテ足レリトス

此法式ニ背キタル故障申述ノ書ハ裁判ノ執行ヲ止ムルヲ得ス且原告人ノ代書師ハ被告人ノ代書師ニ答書ヲ送ルノミニテ其他訴訟ノ手續ナク其故障申述ノ書ヲ卻還スルヲ得可シ

此條ハ故障ヲ述フルトキノ文章ハケ様ノ譯

ヲ以テ故障ヲ述ルト云フテ書クテ説キ
タルモノナリ

故障ヲ述ルレケレトハ其故ヲ書記セサル
ヲ得ス

任レ既ニ答辨書ニテ其事故ヲ委シク書イテ
送リタル上ニハレケレトニ其故ヲ委シク記
スルニ及ハストス

此法律ニ記載シタル如クニ書カス又前ニ答
辨書ヲモ出サス総テ法律ニ違ヒタルレケレ
トハ其効ナシトス

司法省

其時ハ裁判所ニテ此レケレトハ式ニ違フモ
ノナルユヘ取上ルテ得スト言渡スナリ
其時ニハ夫レ切リニテ済ム

ホアソナレト曰之レニテ差支モ面倒モナキ
トナレ氏此法律ハ嚴酷ナリトス

式ニ違フタルレケレトヲ出シタルトキハ何
事ヲモ取調フルトナク一通ノ言渡シ書キヲ
出スノミ

眞譯誤アリ且云々以下ニ刪改ス

故障ヲ述フル書付ハ裁判官ニアラサレハ之

レテ却還スルヲ得サルナリ

縦令ハ被告人ノ代書師ヨリ原告人ノ代書師
ハ故障ヲ述フル「ケート」ヲ送リタルニ其書
ノ式ニ違ヒタル時ハ之レハ其効ナシト云ヒ
テ之レヲ還シ夫ヨリ原告人ノ代書師ハ裁判
取ヘ出テ被告人ノ代書師ヨリ故障ヲ述ヘタ
ルニ其「ケート」ハ式ニ合ハサルヲ以テ還シ
タリ依テ被告人ノ代書師へ其故障ヲ述フル
「ケート」ハ用ヲ為サ、ルノ言渡ヲ願フト云
フ其時裁判取ニテ原告被告代書師へ別取

司法省

調ノ手續ナクシテソノ効ナキノ言渡ヲナス
ナリ

其「ケート」ヲ被告人ニ還ストキ何月何日ニ
裁判取ヘ共ニ出ント言ヒ送ルナリ

其裁判取ニ出テタル時ハ原告ノ代書師ハ被
告人ノ「ケート」ヲ讀ミ上ケルナリ

其時ハ裁判官ハ原被双方ノ「ケート」ヲ讀ム
ヲ聴カサルヘカラス萬一被告人ノ故障ヲ述
ル「ケート」ハ式ニ違ハサルトキ原告人ノ「ケ
ート」違ヒタルト為シテ其「ケート」ヲ効ナ

シト言渡ス

被告人ノ「レケート」ノ式ニ違ヒタルトキノ裁判費用ハ被告人之「レ」ヲ拂ハス被告人ノ代書師之「レ」ヲ拂フナリ

之「レ」マテハ代書師ノアルトキノ「レ」ナリ
第六十二條 被告人代書師ヲ任セス「レ」テ闕席トナリ裁判言渡ヲ受ケタル時ハ裁判取ノ手續ヲ經サル書ヲ以テ故障ヲ述ヘ又ハ負債ヲ拂フ可キ要決ノ書財産ノ抵償又ハ禁錮ノ調書又ハ其他總テ裁判執行テ命スル書ニ故障ノ旨趣

司法省

ヲ附記シテ其故障ヲ述フル「レ」ヲ得可シ但シ故障ヲ述フル者ハ其後八日內ニ必ス代書師ヲ任シ其代書師ヲシテ故障ヲ述フル願書ヲ更ニ出サシム可ク若シ其八日ノ期限ヲ過レタル後ハ故障ヲ述フル「レ」ヲ許サス原告人別ニ裁判執行ノ命ヲ得スシテ其執行ヲ継キ爲ス可シ
被告人代書師ヲ任セス「レ」テ闕席トナリ裁判言渡ヲ受ケタル時原告人ノ代書師死否シ又ハ其職務ヲ行フ「レ」ヲ止メタルニ於テハ原告人ヨリ更ニ代書師ヲ任シタル「レ」ヲ被告人ニ報知ス可

シ但シ被告人ハ其送達ヲ得タル時ヨリ八日ノ
期限内ニ代書師ヲ任シ其代書師ヲシテ故障ノ
迹フル願書ヲ更ニ出サシム可シ

何レノ場合ニ於テモ被告人ノ代書師ヨリ裁判
言渡ニ付キ一度故障ヲ述フルノ願書ヲ送達シ
タル後更ニ出シタル故障申述ノ憑椽ヲ記スル
書ハ其費用ヲ裁判費用中ニ加フ可カラス

此條ハ代書師ヲ立テスシテ欠席トナリタル
トキノトナリ

ソノ時ハ被告人ヲ惠ムノ法ヲ立テ成リ文ケ

司法省

酷ナラスシテ簡易ニ故障ノ出来ル様ニナシ
タルモノナリ

被告人代書師ヲ立テスシテ欠席裁判トナリ
原告人ヨリ裁判言渡書ヲ送達サレタル時ハ
即チ代書師ヲ立テ何某ヲ代書師ニ立テタリ
ト原告人ヘ言送ルナリ

其文格ハ「レケート」ニハアラス眞譯ニ裁判所
ノ手續ヲ經サル書トハ相對ノ書付ケニテ裁
判取宛ノ書付ケニアラサルヲ云フナリ

例ヘハ呼出狀ハ後ニハ裁判所ヘハ出ツルナ

レ氏其呼出状ハ裁判取宛ノ書付ニ非ラサル
モノ故即チ裁判取ヲ經サル書付ケト云フ
裁判取^{エキ}ヲ經^{スタラ、レユレ}サル書付^{レユール}

此條原文ヨロレカラス

裁判取ヲ經サル書付ケト云フハ負債ヲ拂フ
可キ命令ノ書財産差押ノ書等皆チ裁判取ヲ
經サルモノナリ故ニ別段ノ書付ケト云ヒラ
ズレリ

負債ヲ拂フヘキノ命令ノ書トハ裁判執行
ノ書付ケニテ使吏ノ書クモノナリ裁判取ヲ

司法省

經タルモノニアラサルナリ

之レヲ送達シタル時故障申述ヘント欲スル
モノハ其首ヲ其書ニ附記シテ足レリトス
元ヨリ裁判取ニテ言渡シテナシタル上ハソ
レニテ裁判取ノ役ハ存ムナリ其言渡レノ通
リニスルヤセサルヤハ関セス

「コンマントマニ」其作要決ト譯

此ノ如ク行ヘト云フ命令ノ書

負債ヲ拂フヘキ云々ノ書ハ使吏ニテ裁判言
渡書キノ馬シテ作り此ノ如ク言渡サレタル

ニヨリケ様カカニ執行スヘシト使吏ヨリ命
令スルモノナリ

裁判官ニテハ裁判言渡ヲ為スノミ其後使吏
ニテ原告人ノ頼ミヲ受ケ裁判言渡書ヲ寫シ
此言渡書キニヨリ誰ヘ何々ヲ渡セ或ハ何程
ノ金ヲ拂ヘト云フテ我レヨリ命スルト書
キテ被告人ヘ送ルナリ
執行ノ手續ヲ説カントス
欠席ナリ出席ナリ其裁判ヲ言渡セハ裁判官
ハソレニテ所ムナリ

司法省

日本ニテハ裁判官ニテ其所マテモ世話ナス
ル心ナル可ケレ氏ソレハ暫ラク捨テ、聞ク
可シ

サテ裁判言渡書ハ勝訴訟ノ者ヘ渡ス之レハ
勝訴訟ノ証據ナリ

出席ナレハ双方ノ手数ノ所ミタル上ニテ一
方ノ勝者ヘ言渡書ヲ渡スナリ
其後ノ手續キハ

裁判ヲ執行スル丁ハ直チニスル丁能ハス
使吏ニテ其言渡書ノ寫ヲ作り負訴訟ノ者ニ

送ル

其時ニ此命令書ヲ送ラント欲スレハ直チニ
送ルヲモアリ

裁判言渡書ヲ送り直チニ執行セシメントス
ルトキハ使吏ニテ裁判言渡書ノ下ニ此ノ如
ク執行セヨト書キ送ル

其時ハ二十四時間ニ執行セサルヲ得ス若シ
急ニセサル時ハ先ツ言渡書ノミヲ送ル而シ
テ後ニ命令書ヲ送ル

命令書ヲ送リタル後二十四時ノ間ニ執行セ

司法省

サル時ハ使吏ニテ負訟ニ行キ財産ヲ取押
ユルナリ

其時ニ自カラ行キ物品ヲ持テ歸ル等ノ下ハ
決シテ為サス

其命令書ヲ送リタル氏其執行ヲ為サルニ
付キ何カヲ取押ユルトノ書付ヲ物品ノ番人
又ハ本人ニ渡ス

其調書ノ下タヘ何月何日ニ之レヲ糶賣スル
ト書ク

其糶賣ハ公ケノ糶賣ニテ其宅ニテ賣リ又ハ

之レヲ為ス可キ取ヘ出シテ賣ルナリ

其時ハ夫婦ノ臥床並ニ衣服渡世ノ書類其他
職業道具等三百「フランク」文ケノモノヲ引除
クナリ

其前ヨリ身ニ着シタル衣服ハ何程ノ羨ナル
モノナリトモ又ハ指輪金鏢等モ總テ取ル
テ得ス

繳令何程多ク着スルトモ之レヲ取ル
テ得
ス

万一羨服ナラハ脱カセヨトノ法律アレハ使

司法省

吏ニ廉服ヲ着セテ羨服ヲ脱カスル等ノ弊ア
ルヲ以テ其法ナシ

不動産アレハ之レヲ押ユルトモ苦シカラス
任シ之レヲ賣ルハ三十日間ヲ經サレハ能ハ
ス

禁錮ハ其人ヲ入獄セシムルナリ

執行ノ書付ケハ三ツトナル

第一動産ヲ取押ユル

第二不動産ヲ取押ユル

第三人ヲ取押ユル

其書付ケハ何ノ故チ以テ動産ヲ取押ヘ何ノ
故ヲ以テ不動産ヲ取押ヘ何ノ故チ以テ其者
ヲ取押ユルト書付ケテ送ル

若シ控訴ノ出来ル丁ナレハ其期限内ハ其執
行ヲ中止スルナリ

其執行中ニ物ヲ以テ拒ク時ハ邏卒其他公兵
ヲ連レテ行ク丁テ得ル

控訴又ハ故障ヲ為ス時ハ其間ハ執行ヲ中止
スルナリ併レ乱暴ヲ以テ其命令ノ如ク為サ
サル時ハ邏卒等ノ助ケヲ得テ行フナリ

司法省

ゴロスト云フ書付ケアリ其書付ケニ仏国人
民ノ命ニ依テ此ノ如ク言渡ス万一此命令ノ
如ク執行セサル時ハ邏卒兵隊ヲ以テ此書付
ケノ如ク行ハレムト書イテアルナリ

此書付ケナケレハ何ノ用ヲナサス
之レハ裁判取ヨリ必ラス渡ス丁ナリ

裁判言渡ノ本書ハ裁判取ニ残ルナリ其寫レ
テ勝訴訟ノ者ニテ之レヲモロフナリ其字面
ヲ大字ニ書キタルモノナル故「ゴロスト云フ
ナリ

使吏ハ其書付ケテ懷中シテ行クナリ併シ見セハセサルナリ

此「グロス」ハ裁判取ヨリ云ヘハ寫シナレバ勝訴訟ノ者ヨリ云ヘハ本書ナリ使吏ヨリ負訴訟ノ者ヘ送達スルモノハ又其寫シナリ

此「グロス」ヲ書記官ニテ渡ス故其手數料ヲ書記官ヘ出スナリ

此「グロス」中ニ邏卒兵隊ノ手ヲ借ルナリ書イテアル故万一拒クモノアルトキハ其力ヲ借ル即チ此「グロス」アルヲ以テナリ

司法省

此次會ニ故障ヲ述フル手續キヲ説カントス

司法省

第廿三號

訴訟法會議筆記

七年十二月十五日

司法省

第百五十六條ニモトル

第百五十六條ニ代書人ヲ立テスレテ欠席裁判トナリタルトキハソノ裁判言渡書ヲ別段選ミタル使吏ニ持タセテ遣ルト書テアルナリ

然ルニ此ノ如クニ取扱フコトヲ得サル場合アリ

被告人ノ住所ソノ裁判所ノ管轄内ニアラサルトマ、アリ物件ノトニ付テハ多クアルトナリ

タトヘハ原告人東京人ニテ被告大阪人ナルトキハ東京裁判所ヨリ大阪裁判所ヘタクシ

司法省

遣リ大坂裁判所ヨリ別段使吏ヲ命シテ送達ス

被告人數人アルトキハ猶尚ラスヘカラス之レ等ハ惣テ其管轄ノ裁判所ヘ托シテソレ々ニ使吏ヲ命スルナリ

遺物分配ノトニ付テハソノ死シタル人ノ地方ニテナスユヘソノ分配ヲ受クルモノハ各地ヲ散在スルモノ多シ惣テ前ノ手ツ、キニ以テスルナリ

右ハ過日説クヘキ所口ナレ氏忘レタルユヘ今日説キ添ヘタリ

第百六十二條 被告人代書師ヲ任セスレテ欠席トナリ裁判言渡ヲ受ケタルキハ裁判所ノ手

続ヲ經サル書ヲ以テ故障ヲ述ヘ又ハ負債ヲ払
フベキ要決ノ書財産ヲ抵償又ハ禁錮ノ調書又
ハ其他総テ裁判執行ヲ命スル書ニ故障ノ旨趣
ヲ附記シテ其故障ヲ述フルトヲ得可シ但シ故
障ヲ述フル者ハ其後八日内ニ必ス代書師ヲ任
レソノ代書師ヲシテ故障ヲ述フル願書ヲ更ニ
出サシムヘク若シソノ八日ノ期限ヲ過シタル
後ハ故障ヲ述フルコトヲ許サス原告人別ニ裁
判執行ノ命ヲ得スレテソノ執行ヲ継キ為スベ
シ

司法省

被告人代書師ヲ任セスシテ欠席トナリ裁判言
渡ヲ受ケタルキ原告人ノ代書師死去シ又ハ其
職務ヲ行フコトヲ止メタルニ於テハ原告人ヨリ
更ニ代書師ヲ任シタルトヲ被告人ニ報知スヘ
シ但シ被告人ハ其送達ヲ得タル時ヨリ八日ノ
期限内ニ代書師ニ任シソノ代書師ヲシテ故障
ヲ述フル願書ヲ更ニ出サシムヘシ

何レノ場合ニライテモ被告人ノ代書師ヨリ裁
言渡ニ付キ一度故障ヲ述フルノ願書ヲ送達シ
タル後更ニ出シタル故障申述ヲ憑拠ヲ記スル
書ハ其費用ヲ裁判用中ニ加フベカラス

訴訟人出席シテ裁判トナリタルキハ裁判言
渡ト使吏ノ命令書トヲ送達シソノ負債ヲ払
ハサルトキハ財産取押ヲナシ而シテ公ケノ
糶費ヲ為シ取ルベキモノ之ヲ取ル不動産ハ
ナレ手ツ、キアレ氏則テ前ニ同シ之レニテ

裁判執行ハ済ムナリ

欠席裁判ノ執行ハ如何スルヤトナレハ則チ出席裁判ト同シ候シ故障ヲ述フルナリソノ故障ヲ述フルハ過日説キタル如ク裁判執行ノ終ハルマテハ宜シ

才百五十八條ト百五十九條ノ法律ニ云フ所コハ欠席裁判ヲ言渡レタリトモ猶被告人ニテ知ラサルヲ思ル依テ裁判執行ノ終ルマテハ故障ヲ述フルコトクルシカラスト為スナリ

ソノ故障ヲ述フルニハ裁判言渡書ト使吏ノ命令書トヲ送リタルトキ故障ヲ述ヘ又ハ財産トリ押ヘノ書キ付ケニ対シ故障ヲ述フ

司法省

ヘシ
ソノ故障ヲ述フル方法ハ此裁判ニ付故障アリト書ク

使吏ノ命令書ニモ本書ト写シトアリ必ラス其二通氏ニ故障ヲ書キ入ルヘシ

方ニ命令書ヲ送リタルトキ被告人ノ居ラサルトアルヘシソノ件ハ被告人ニテ財産取調ニ來ル時故障ヲ述フ

或ハ禁錮セラル、キナラハソノ件ニ述フ或ハ糶賣ヲ為ス為ソニ財産ヲ運セニ來ルキニ述フ

或ハ糶賣ヲ為シテ居ルトキニ之レヲ述フ其糶賣ノ件ニハ評價人アリテ立合フ之レハ

代書人ト同シク官吏ナリ

其評價人ハ財産ヲ何ノ誰ヘ賣リタリト調書

ヲ作ルモノナリ

ソノ調書ヘ對シテ故障ヲ述ヘタルノミニテ

ハスマス

ソノ故障ヲ述ヘタルヨリノ日ノ内ニ代書師

ヲ立テ原告人ノ代書師ヘソノ変ヲ言ヒ送ル

ナリ

其八日內ニ此手續ヲ為サ、ルハ其故障ノ効

ナキヲ以テ原告人ハ其裁判言渡ノ通り続ヒ

テ執行ヲ為スナリ

之レヨリ後ハ原告人ノ代書師死去シ又ハ職

ヲ止メタルトキハ被告人ヨリ原告人ノ代書

司法省

師ハ故障ノ書付ヲ送ルトテ得ス此トキハ原

告人ニテ更ニ代書師ヲ任シタルトテ被告人

ニ送達シソノ後被告人ニテ代書師ヲ任シテ

原告人ノ代書師ヘ故障ヲ述フルコトヲ執ク

故障ヲ述フルニハ必スソノ故ヲ言ハサルヘ

カラス

一旦故障ノミヲ言ヒ其後ニ其故ヲ言ヒ遣ル

キハ其書付ノ費用ハ代書師ノ自費ニ屬シ被

告人ヨリ払ハレム

問

スヤ

答

八日ヲ過キテ被告人代書ヲ立テス確定ノ
裁判トナリタルトキハソノ入費ハ必ラス

ソノ八日內ニ糶賣等ノ入費ハ何レヨリ出

ス被告人ヨリ出ス若シ代書師ヲ任且ツ勝
訴訟トナリタルトキハソノ入費ハ原告人
ヨリ出シ且ツ損害ノ償ヲモ出ス

之ニ要スルニ原被モ係ハラス負ケ訴訟ヨリ
入費ヲ出スナリ

第百六十三條 裁判所ノ書記局ニ簿冊ヲ設ケ
置キ故障ヲ述フル者ノ代書師其簿冊ニ被告人
ノ姓名並ニ已レノ姓名裁判言渡書及ヒ故障申
述書ノ日附ト其申述ノ日附トヲ簡略ニ記ス可
シ但シ其記シタル書ノ寫レヲ受取りタル時ニ
非レハ其記録稅ヲ出スニ及ハス

第百六十四條 原告人又ハ被告中一方ノ者抗

司法省

傳者トナリテ言渡サレタル裁判ヲ其訴訟ニ管
セサルモノニ対シ執行ハントスルトキハ書記
局ノ簿冊ニ故障申述ノ書ヲ記シタルコトナキ
旨ヲ証シタル書記官ヲ諸合書ヲ渡スコトヲ必
要トス

又席裁判トナリタトヘハ申負ケタリ乙ハ勝
チタリソノ時ハ甲ヘ対シテ執行スルナリ然
ルニ外人ニ対シテ執行ノコトアリ一言ニテハ
愕然タルヘシ保シ之レアリタトヘハ甲ヨリ
財産ヲ丙ヘ預ケタルトキハ丙ニ対シ執行ハ
サルヲ得ス又被告人ニテソノ品ヲ典シタル
キハソノ典鋪ニ対シ執行ハサルヲ得ス尤モ
ソノ手續キハ違フナレ氏此ノ如キ場合アル

ナリ

典シタル時ハ必ラス典舗へ掛ル典舗ニテハ
ソノ金額ヲ払フヘシ但シ書記局ノ書付ヲ持
参セサルヘカラス之ヲ持参セサレハ典舗ニ
テハ承諾セサルナリ

百六十三條トコノ條ハ一條ニ為シテヨロシ
故障ナキ旨ヲ書記局へ陳述シ使吏ニテ其書
付ヲ典舗へ見セルナリ

此書付ハ本書一通ナリ
典舗ナレハ典舗ニモ權利アリ原告人ニモ權
利アリソノ双方ノ權利ヲ害セサレ為メニ為
スモノナリ
一應ノ預カリ人ナレハ權利ナレシ候シ証局ト

司法省

ケレハ渡サレルナリ

問

計價人ハ財産取押ヘノキニ来ラサルキハ
其財産ノ見積ハ出來サルニアラスヤ

答

評價人ハ糶賣ノキハカリタトヘハ二百
円ノ訴訟ナレハ被告人ノ財産ヲ尽ク取押
ユルトハナラス大抵二百円位ノ見積リヲ
以テ取押ユルナリ使吏ハ大抵財産ノ代價
ヲ知ル者ナリ

繁花ノ地ニアラサレハ評價人居ラス使吏
ニテ之レヲ兼タルナリ

更ニ一ツノ外人ニ対スル執行ヲ説カントス
此例ハニテ尤モ多シ

タトヘハ甲訴ヲ為シテ乙負ケタリソノ負債

ニ充ルノ財産ナル然ルニ丙ニ乙ヨリ借シ金
アリソノトキハ甲ヨリ裁判所ノ書記局ヨリ
出ス書付ケヲ以テ直ニ丙へ取りニ行ク十
リ
其時ハ丙ハ必ス登記局ノ証書ヲ見タル上ニ
テ渡スベキナリ
此証書ハ被告人ノ故障ヲ述ヘサル証拠ナリ
コノ外人ハ訴訟ニ聊カ関係ナキモノニアラ
ス何トナレハ被告人ヨリ借り金アルユヘナ
リ
第百六十五條 一度差出シタル故障申述ノ層
ヲ部還スル言渡ニ付テハ更ニ故障ヲ申述フル
トヲ許サス

司法省

短文ナレ氏宜シク注意スヘシ
一度裁判言渡ノ故障ヲ止メラレタル者ハ再
ニ故障ヲ述フルトヲ得サルナリ
ソノ故障ヲ述フルトヲ許サハルナリ何トナ
レハ裁判所ヲ愚弄セサルヲモニ此ノ如クス
ルモノナリ
人アリ始末書ヲ出サスレテ欠席裁判トナリ
タルトキハ故障ヲ述フルトヲ得ヘキヤト云
ハ、可ナリト云ハン然ラハ再度ノ欠席何ノ
ヲモニ故障ヲ述フルトヲ得サルヤト云ハ、
最初既ニ欠席裁判トナリタリ再度ノ欠席ニ
ハ故障ヲ述フルコトヲユルサスト答ヘンノ

三

大意ハ一度ハ許ルス二度ハ許ルサスト云フ迄ナリ

一度欠席裁判トナリタルトキ式ニ違フタル書キ付ケヲ送ルカ又ハ始未書ニ出サスレテ再ヒ欠席裁判トナリタルニ付故障ヲ速ヘタルトキハ再ヒ故障ヲ速フルトテ許サ、ルナリ
係シ第百六十二條ノ場合ハ此條ノ取り除ケナリ

裁判所ノ手数ヲ經ストモ宜シキト云フトモ亦手数ヲ經サルヘカラサル場合アリ
夕トヘハ使吏既ニ命令書ヲ送ルトキ故障ヲ速フルニ付キ八日間ハ執行ヲ中止スルトモ

司法省

モ被告人ニテ代書師ヲ立テサルユヘ使吏ニテソノ家ニ行キ財産取押ヲナスニ被告人不兼知ヲ言フトキハ使吏ハ裁判官ニアラス止ムコトヲ得ス裁判所ヘ呼ヒ出スコトニナルナリ

問

其時ハ兵隊ボリスハ用ヒサルヤ

答

之レハ抗拒スルキニ限ルナリ

以上ノ場合ニ於テハ原被双方トモニ裁判所ヘ出ツ其時ハ使吏ニテ原告人ノ代書師ヘ言ヒ送り被告人モ代書師ヲ立テ裁判所ヘ出ツ其氏裁判官ハ初メノ「ハ言ハス被告人ノ故障ハ立夕サルニ因リ早ク執行ヒヨト言渡スノミナリ

才百六十五條ト第百六十二條ト合せて見ル
キハ大ヒニ及スル如クニ見ユルト由氏此命
令ヲ受ケケル場合アリタトヘハ罪ヲ犯シテ
六ケ月禁錮ノ刑ニ處セラル、トキハ六ケ月
ヲ過クルハ命令書ヲクレテ執行スルト由氏
万一ソノ罪人ニテ故障ヲ言フトキハ裁判所
へ出ツルナリ

之レト同シク八日ヲ過キタルト由氏被告人
ニテ故障ヲ云フトキハ幾度ヒ裁判所へ出テ
サルヘカラス三度ナレハ三度モ出テサルヘ
カラス依シ裁判官ニテ之レカ防キヲ付ケル
ナリタトヘハ此裁判ヲ遂ケサレハ一日ニ何
程ノ費用アリ之レヲ払フヘシト言渡スナリ

司法省

時ニヨリ使吏ニテ遂ケシムルコトアリ万一ソ
ノ見込ミノ違ヒタルトキハ使吏ゾノ損害ヲ
引受ケテ行フナリ右ノ場合ニテハ決シテ使
吏ノ見込ミ違ハサルモノナリソノ由氏被告人
手ヲ出ストキハ兵隊ポリスヲ掛クルナ
リ
尤モ使吏ハ兵隊ポリスノ助ヲ求ムルノ權ア
リ
至急裁判ノトキハ大抵使吏ニテ行フナ
リ
使吏ノ役目ハ肝要ナルモノナリ訴訟法ヲ立
ルニ繁冗ニ渉ルハ好マスト由モ使吏ハ立テ
サルヘカラス

之レハ官吏ニハ行ハシメサル方ヨロシ身元
ノ慥カナルモノニ身元金ヲ出サシメテ為サ
シムヘシ

官吏ニ使吏ノ役目ヲ命スルトキハ怠タリ又
官權ヲ以テ權外ノ威ヲ振フニテ弊害アル
コトアリ何トナレハ官吏ヲ罰スルハ裁判所ニ
テ甚タ斟酌アルモノナリ而メソノ害ハ惣テ
人民ニ帰ス

佛ニテハ使吏ヲ嚴ニ罰スルナリ
官吏トナレハ之レヲ罰スルハ斟酌アリ
書記等ノ株人ハ惣テ裁判所ニテ嚴酷ニ罰ス
ルナリ
故ニ人民ハ大ニ安心シテ居ルナリ

司法省

法律ノコトヲ巨細ニ説クヨリハ書記代書師代
又ハ使吏公証人評價人ヲ立ツルコトノ相談ハ
尤モ難波ナリ
何トナレハ以上ノモノハ惣テ都合ヨロシキ
モノナレ氏ソノ弊害ノナキ様ニスルハ困難
ナルモノナレハナリ

第九章

第百六十六條 總テ外国人ハ主タル原告タル
ト原告ノ訴訟ヲ助クル者タルトテ問ハス被告
人ヨリノ要ヲ受クルニ於テハ總テ訴訟ノ故障
ヲ速フル前ニ裁判所ノ費用及ヒ被告人ニ損失
ノ償ヲ払フ可キノ言渡ヲ受クル時之ヲ払フベ
キノ保証人ヲ立ツ可シ

尋常ノ訴訟裁判ニ至ルマテノ手續ハ呼出状ヲ送り答弁書ヲ造り檢査ヘ告クヘキコトハ告ケソノ後双方裁判所ヘ出テ理非ノ分カリタル上ニテ裁判トナルハ面倒ノチキコトナリ欠席裁判ナレハ故障ヲ云セソノ上ニ又裁判所ヘ出ツルト云フ混雜ヲ生ス然ルニ各種ノ訴訟裁判中ニ種々不意ノ面倒ナルコト起ルコトアリソノ面倒ハ裁判ノ初メニ起ルコトアリ又裁判ノ半ハニ起ルコトアリオトニ起ルヲ「エキセプレヨシト云」
「エキセプレヨシ」ノ語ニ於テニ夕通りノ意味アリ

民法ト訴訟法ニ依テ違フナリ

司法省

民法ニ於テハ車柄ノ原因ニ故障ヲ述フル意ナリ

タトヘハ此權利ハステニ解ケタリトカ又ハコノ負債ハ既ニ払ヒタルト云ヒテ防クコトナリ

既ニ説ク所ロノ中ニモ間々コノ語アリ偽委シク指シホスヘシタトヘハ連帶スル負債アリソノ一人ノ云クニハコノ負債ハ借金トナルヘキモノニアラストカ又凡俗ニ違フトカ又ハ契約ニハナラストカ云フノ類即チ之レ「エキセプレヨシ」ナリ

民法千二百八條ニアリ又千三百四十條ニアリ又千三百六十一條ニアリ

之レ皆契約編ニアリ就テ見ルヘシ
以下訴訟法ニアル「エキセプシヨ」ニテ説カン
トス

訴訟法ノ「エキセプシヨ」ニ於テモ同シク故
障ヲ述フル「ナレ」氏ソノ訴訟ノ原因ノ故障
ヲ云フニアラス之レハ式ニ違フナリト故障
ヲ云フモノナリ
今ソノ例ヲ挙ケントス違フヤ違ハサレヤ省
ルヘシ

タトヘハ外国人ノ仏ニテ訴訟ヲ為スニハカ
ナラス保証ヲ立ツヘキ式アリ故ニ仏人ハ外
国人ニ対シソノ訴ノ原因ニハ関セス訴ヲ為
サハ必ラス保証ヲ立ツヘシトモトムルコト

司法省

アリ

呼出状ノ所口ニテ既ニ裁判所ノ管轄異ナル
「テ」説キタリ右ノ場合ニ於テハ訴ノ原因ニ
ハ関セス先ツ裁判所ノ管轄異ナル「テ」云フ
之レ「エキセプシヨ」ナリ

呼出状ハ面倒ナル式アリソノ呼出状ヲ披見
スルニ式ニ違ヒタリソノ「ハ」裁判所へ出テ
此呼出状ハ式ニ違ヒタルヲ以テ出席セスト
云フナリ

タトヘハ延期ヲ願フトキソノ期限内ニ訴へ
ヲ受クルトキハ未タ訴へノ起ル期日ニハア
ラスト「言」フナリ

今説ク所口ヲ「エ」キセフシヨ「ハ」場合又ハ式

違フト云フナリ
式ニ違ヒタルニ付キ式ノ如クセヨト云フナリ

司
安
尊

第廿四号

訴訟法會議筆記

七年十二月廿日

司法省

第百六十六條 第百六十七條

今日ハ丑キセフシヨシ即チ故障ヲ速フルコトヲ
説カントス

過日説キタル外國人ノ訴訟ヲナストキハ保証
ヲ立ツル規則ナリ

民事ニ付イテハ外國人民モ佛國人民モ殆ント
同權アリ

併シ聊カノ違ヒアリ
元ヨリ政權公權ニ至ツテハ外國人ト仏人トハ
餘程違フナリ

以前ハ外國人百五十フランクノ元金ヲ借リテ
返スコトヲ得サルトキハ禁錮セラレ仏國人ハ三

司法省

百フランクノ借金ヲ返スコトヲ得サルニアラサ
レハ禁錮セス

右ノ通り外人ト仏人トノ違ヒアリタレトモ今
ハ外モ仏人モトモニ一切禁錮ヲハイシタ

リ
今日内外ノ違ヒ聊カアリト云フコトハ差支ナキ
コト思フナリ之レハ内國人ノ使利ノ為ナレ

ハナリ
ソノ違ヒハ若シ外人原告人ニテ内國人ハ対シ

訴訟ヲ為ストキハ諸人ヲ立テサル可カラス何
トナレハソノ訴責ヲ取上ケサルトキハ訴訟入

費ヲ生ス之レ払ハサルベカラス入費ヲ本人払
ハサルキハ之レニ代リテ払フモノナカルヘカ

ラサルナリ
外國人ノ被告人トナリタルトキハ其諸人ヲ立
ツルニ及ハス

其外人ハ受人ヲ立テ内人ハ受人ヲ立ツルニ及
ハサレ譯ハ外國人ハ仙國ニ居ルニ住所ノ定マ
ニサルモノアルベシ之レハ住所ノ定マラサル
ニ付キ万一負訴訟トナリタルキハ本國へ此ル
等ノ丁アルモ計ルヘカラス

外人ニテモ住所ノ定マリアレハ訴訟入費
等ハ聊カノ丁ニ付テソノ住所ヲ立テ去ル丁ハ
ナシ必ラス立テ止マリテソノ訴訟ヲ了スヘシ
其者ノ便利トナル丁ナレハナリ
然ルニ住所ノ定マラサルモノハ必ラス此迄ス

司法省

外國人ノ被告人トナルキハハハノ訴訟入費ヲ
付ノミナラス本件ノ元利ニ至ル迄仕払ハサル
丁ヲ得サルナリ

其原告人トナリタルトキハ訴訟入費ヲ出スノ
ニ被告人トナリタルトキハ訴訟入費ノ上ニ元
利トモ払フヘキニ受人ヲ立テサルハ何ノ方ノ
ツヤ

被告人トナリタルトキハソノ悪シキ丁ハ誰レ
モ知ルヘキナリ仍テ受人トナレモノアルヘカ
ラス法律上ニ於テ強テ之レヲ立テレムル丁能
ハス

ソノ所以ハ受人ナケレハ裁判所へ出テ防ク丁

能ハス

裁判所へ出ツル丁能ハサレハ欠席裁判トナル
更ラニ八日ヲ過キテ故障ヲ述フルコト能ハス
弥々確定ノ裁判トナルテハ上告スル丁ヲモ能
ハス

夫レニテハ甚タ氣ノ毒ナリトシテソノ被告人
タル時ハ受人ヲ立ツルコトヲ法律ニ立テサリ
レナリ

原告人ノキハ保証人トナルモノナリ氏格別害
ハナシ

元來三十ヶ年ノブレスフレクシヨシアリソノ
長キ間タニ受人ヲ頼ムトキハ自然ニ頼マル、
モノモアルベシソノ人ノ権利ニ害ナキナリ

司 法 省

仍テ受人ヲ立ツル丁ト為レタリ

問 外国人原告トナリタルトキ受人ナクシテ
訴フルコトヲ得ナル場合ニハ如何スベキヤ
答 呼出状ヲ送達スル方ハ出來ルナレバ裁
判所へ出ツル丁能ハス

仏人ノ原告トナリ外国人ノ被告ニ受人ナキト
キハソノ原告人ハ待タスレテ欠席裁判ト為レ
テ仕舞フナリ

外国人ノ原告トナリ呼出状ヲ送達スルトモ受
人ナキ時ハ三十ヶ年ノブレスフレクシヨシヲ
延へ何時マテモソノ訴訟ノ権利ヲ失ハス此違
ヒアルユヘ此ノ如クニナレタリ

受人ハ容易ニ得ヘカラサルモノナリト云ヒ其

人ノ正実ナルトナラハ受人ナキトハアルヘカ
ラス然ルニ受人ナキトナラハ必ラス不正ノト
ト見ルベシ

被告人ニ道理アリテ此事ハ正シキト思フトキ
ニハ受人ヲ要セス

被告人ト云フモノハ必ラス悪シキト見サルヲ
得ス然ラハ受人ヲ得ルト能ハサレハ必ラス欠
席裁判トナルハ実ニ悖然ナリト思フヨリ立テ
タル法ナリ

外國人ニ於テハ受人ヲ見出ストヲ得サルトキ
ノ補ヒトナルヘキカノニ保証金ヲ出シテ済ム
トアリ

原告人タルモ佛國ニ不動産ヲ所持スルトキハ
司法省

受人ヲ立ツルニ及ハス

受人ヲ立ツルト保証金ヲ出ストハ民事ニ関ス
ルトノミナリ高直ニハ絶テ無し

第一ニハ仏國ニ住所ヲ定ムルト
才ニニハ高直ニ関スル事件

此ニツニハ受人ヲ立ツルニ及ハストス
受人ニ代ハルヘキモノニツアリ

不動産ヲ所持スルトキ又保証金ヲ納メタルト
キ

之レハ受人ヲ立ツルニ及ハス

不動産アリ又金ヲ出シテ人ニ代ユルトキ其高
ヲ無限ニナスト又ハ不足ニスルトハナラス仍
テ其訴直ニ付キ何程ノ高ト定ムルトハ裁判所

ニテ之レヲ定ム

第百六十七條

此條ハ三ツノ事ヲ含ム

才一ハ受人トナル可キ者何程ノ金額マテハ保証スルヲ定ムル

第二ハ金ヲ官署ニ預ケル

才三ハソノ金額ニ代ルベキ不動産ヲ所持スル

ト

仏ニ住所ノ定リタルモノト商事ニ関スルモノトハ此所ニハ書テナシ

民法才十三條才十六條ニ出ツ

(此二條ノ全文ヲ此所口ノ注ニ出スベシ)

民法ノ十三條ノ皇帝ノ允許ヲ受ケテ佛國ニ住

司法省

居スル者ハ佛人ト看做スナリ

十六條ノ云フ所ハ商業ニ関スル云々トアリテ

商事ヲ云フナリ

以上ノ二ヶ條ヲ民法ニ入レソノ他ノコヲ訴訟

法ニ入ルハヨロシカラス

民法ヲ書キ直シテ仏國ニ住居ヲ定メ又ハ商業

ニ関スル云々ハ訴訟法才何條ヲ見ルヘシト書

キ訴訟法ニ於テ委レク書ク可キナリ

故障ヲ速フル方法ハ才百六十六條ニアリ此條

ノ始メニ段米亜細亞ホノ區別ナク惣テ外國人

ト書イテアリ

然ルニソノ取り除ケアリ何トナシハ各國ノ條

約ニヨリテ「ベルジック」ス「エス」イタル「リヤ」ユノ三

ケ國ハ條約ニヨリテウケ人ヲ立ツルニヲヨ
ハス

「サルデーニ」ハ仏ニ隣セル一小國ナリシガ「イタ
リヤ」ニ併セラレタリ

ソノ併セラレタルニ付キ「イタリヤ」ノ全國ニ此
法ヲ及ホスヘキカ又ハ元トノ「サルデー」ノミ

ニ用ユヘキカヲ論シタルニ巴里ノ控訴裁判所
ニテハ元トノ「サルデー」ノミニ用ユル方ト定

メタリ
此上ノ三ヶ國ハ仏ニテ受人ヲ用ユルニ及ハサ

ルヲ以テ仏人ノ此三ヶ國へ行クモノモ受人ヲ
用ヒサルヲナリ

此三ヶ國ハ仏ニ隣セル國ナレユヘ日ニ訴訟モ
司法省

スクナカラス受人ヲ立ツルニヲヨハサルコト
トス

此ノ法ハ大抵コートトノ出来ルコロヨリ始マリ
タリ「ロイス」十八世王改復古ヲナレタルトキナ

リ
此度ヲ何ノ為メニ為シタルト云フニ「ロイス」十

八世ノ頃ニ外人ニ地所ヲ賣ルヲ許シ金ノ多
ク入ルヲ欲シタリ

右ニ付キ物件取戻シノ容易ニ出来ル為メニ此
法ヲ設ケタルモノナリ

ソノ次ニ主タル原告ノ訴訟ヲ助クルトハ外
ヨリ出テ原告ノ權ヲ保護スルモノヲ云

フナリ

之レハ訴訟ノヲコリタルノ千ニ出来ルコトナ
助クト云ヒテ仲ニ入ルトハソノ正條アリ仍テ
茲ニ委レク説カス
被告人ヨリ要メテ受クルトキハト書イテア
之レハ元ヨリ裁判所ヨリ云付ケルトニハアラ
ス何トナレハ之レハソノ一人ノ益ノミニテ一
般ノ公益ニアラス故ニ要ムルトキハ之レヲ言
付ケルナリ
此ノ如キ次オナルユヘ代書師ナカル可カラ
ス
之レハ被告人ノ代書師ニテ要メサルヘカラス

司法省

万一被告人ノ代書師ニテ要メサルトキハ被告
人ノ代書師ニソノ責アリ
訴訟ノ故障ヲ述フル前ニトアリ
訴訟ヲ述フルニ種類アリト虽モ此條ニ説ク所
ロヲオ一ニ述ヘカルベカラス
万一ト度ヒコノ責ヲ止メテ外ノコトヨリ着
手スルトキハ此ノコトハ為スコトヲ得サルナ
リ
此條ノ説キ了ラサル前ニ議論アリ外國人ト外
國人ト訴訟ヲ為ストキハ受人ヲ立ツヘキヤ又
ハ仏人ノ被告人トナリタルトキノ特權トナス
ヘキヤ
一般ノ説ニハ外國人ト外國人トノトナラハ受

人ヲ要ムルノ権ナシト云フ説ナリ
ノ説モ同シ
仙ノ裁判所

ホアツナリト案スルニ一般ノ説ハ法律ニ悖リ
且ツ法律ノ意ニ悖ル

元来原告人ニ請人ヲ立テシムルハ被告人ノ難
儀ヲ救フヲ立テタルモノナリ然ラハ外国人

ナリトモ仙人ナリトモヲナシキニアラスヤ
仏ニ住スル外国人ハ聊カノ違ヒハアシ氏仙ノ

権ヲ受クルトアルニ外国人ノナリハ此條ニ取り
除クルト書イテナシ

然ラハ外人モ區別ナカルベシ
尤モ此條ニ仙人ニアラス書イテア

レハ格別ナレ氏書イテナキ上ハ此條ノ意ニア
ラス

司法省

元ヨリ外国人ナリトモ仙國ニ住居スルモノハ
同シク保護セサルヘカラスソノ外国人ニ対ス

ル外国人ノ原告人ノ逃ケタルトキハ被告ノ外
国人ノ迷惑トナル此ノ如キ偏頗ノ取扱ヲナス

ノ理ナシ
タトヘハ日本人仙ニマリテ孝人ヨリ訴訟ヲ受

クルトキ孝人ノ理立タスレテ孝人ハ逃ケ去リ
タリ然ルトキハ日本人ハソノ入費ノ損失ヲ受

ク仙ニテ外国人ノ日本人ニ此ノ如キ損失ヲ生
セシムルハカスヘキナラス仍テ外国人ノ原

告人トナルトキモ請人ヲ立テシムル方宜シト
思フナリ

仍テ日本ニテ日本人被告人ニテ外国人ノ原告
人ニ諸人ヲ立テシムルコトナラハソノ被告人
外国人ナルトキモソノ原告タルモノ外國ナラ
ズトモウケ人ヲ立テシムルカタナリト思フナ
リ

第六十八條

此條ハ裁判所ノ權内ニアラサルヲ以テ故障ヲ
述フルコトヲ云フ

裁判所ニテ何々ノ裁判所へ出ツヘシト云ヒテ
受理セサルトキトマタコノ事件ハ此裁判所ノ
權内ニアラスト云ヒテ取り上ケサルトキトア
リ
右ニ付テ四ツノ場合アリソノキニハ裁判所ニ

司法省

テ取り上ケス

其内ノ二ツハ其裁判所ノ權内ニアラサルヲ以
テ取り上ケス

才三ハ他ノ裁判所ニテ訴訟ノ既ニ始マリテ居
ルモノヲコノ裁判所へ訴タヘ来リタルトキナ
リ

才四ニハ既ニ他ノ裁判所ニテ起リタル訴訟ヲ
此裁判所へ持来ルトキソノ事件ハ他ノ裁判
所へ牽連スレヲ以テ他ノ裁判所ニアラサレハ
受理スルヲ得サルヲメニコノ裁判所ニテ取り
上ケス

以上四ツノ内三ツハ原被告人ヨリ申立テ苦シ
カラス

之レハ一般ノ公益ニ関スルコトナルニハ原被ハ
勿論検査ヨリ申立ツ

万一申立ナキトキハ裁判所ヨリ言付ケルコトアリ
オ一ニ被告人ノミニアラサレハ言ヒ出スコトヲ
得サルコトアリタトヘハ人権ニテ訴ヲナスハ被
告人ノ住所ノ裁判所ナルコトハ定マリタルコト
ナリソノトキハ裁判所ノ違ヒタリト故障ヲ述
フベシ

遺物相続ノトキハ死人ノ住所會社ノトキハ會
社ノアル地ノ裁判所ナリ仍テソノコト雜ヲ生
スルコトハ澤山アリタトヘハ人ノ住所ヲ換ユ
ルニ一々知ルコトヲ得サルコトアリ間違トナルコ
トナリ

司法省

多シ
一般被告人ハ被告人ノ住所裁判所ト定マリタ
ルコトナレハ間違ハ分レトモ遺物相続マタハ
會社等ノ一般ノ法律ノ取り除ケアルニハ間違
トナル

契約ニヨツテ仮リニ住所ヲ定ムル等ハ間違多
シ
ソノ法律ニ取除ケノアルコトニ付テハ代書師ハ
間違ハナキモノナレ氏人ノ住所ヲ轉シタルニ
付テハ間違アリ
被告人ノ呼出タサレサル可キ所ノ権外ノ裁判
所ヘ呼ヒ出タサレタルトキハ第一ニ故障ヲ述
ヘサレ可カラス

物件ノトキハソノ所在ノ裁判所ナルトハ原則
 ナリ然ルニ被告人住所ノ裁判所へ呼ヒ出サレ
 タルトキハ直キニソノ間處ヒナルトヲ言ハリ
 ルヘカラス
 住所ヲ間處へ又ハ物件所在ノ處ヒタル呼出ノ
 トハ一般ノ公益ニアラス一己ノ私益ナルユヘ
 被告人ヨリ故障ヲ述へサルトキハ裁判所ニテ
 ハ之レヲ其俟受理スルナリ
 此處ヒタルトヲ佛ニテハ人ニ対シテノ處ヒト
 云フ
 之レハ辞ノ足ラサルナリ住所ノ處ヒタルモ物
 件所在ノ處ヒタルモトモニ人ノ處ヒト云フハ
 不當ナル辞ナリ

司法省

人ノ利益ニ於テノ權外ト云へハ宜シ人ノ處ヒ
 トノミ云フトキハ言葉廣キニ過クルナリ之レ
 ハ被告人ノ三ノ處ヒナレハナリ
 第百六十八條ト百六十九條
 此百六十八條ノ文ノミニテハ少シク辞ノ足ラ
 サルヲ費フ何ノ為ト云フ辞アルヘシ
 物權人權ニ係ハラスト云フ方ヨロシ
 未文ニ為ストヲ得ヘレトアルハ被告人ノ隨意
 ニテ訴ヲ為スモ為サハルモ勝手次才ト云フ意
 ナリ
 管轄ニアラサル裁判所ニ呼ヒ出サレタルモノ
 ハノ意ナリ
 才百六十九條ノ未文ニハ前條ノ訴ヲ為ス可シ

トアルハ勝手次第ニハアラス必ラス之レヲ為
スヘレト云フ意ナリ

オ二ノ権外ト云フ一ハ訴訟ノ要件ノ違ヒタル
一ヲ云フ

ソノ例ヲ奉ケン

商事裁判所へ訴へ出ツヘキヲ民事裁判所へ訴
へ出テタルトキノ一ヲ云フ之レニ及スルモ亦
同レ

行政裁判所へ訴へ出ツヘキヲ司法裁判所へ訴
へ出テタルモ亦同レ

刑吏ニ訴フヘキヲ民事ニ訴ワル一ハ稀ナル一
ナレ民事ニヨリ検事ニテ間違ヒタルトキモ同
シ

司法省

オ二ノ所口ナレハ訴訟事件全ク違フユヘ裁判
所ニテ知ラカレヘカラス

第一ノ分ハ人違ヒユヘ裁判所ニテハ知リ難シ
此事件ノチガヒハ裁判所ニテ知ラカレベカラ
ス

之レハ公益ニ係ル一ナレハ高吏ハ商事民吏ハ
民吏各々手慣シタル裁判所ニテ受理ス可キナ
リ

オ一ノ人ノ違ヒトオ二ノ事件ノ違ヒトニ付テ
三ツノ違ヒアリ

人ノ違ヒハ被告人カケノ違ヒナリ要件ノ違ヒ
ハ原被告ニ検事ヨリ訴へテ苦シカラス之レ一
ツナリオ二ノ違ヒハ前條ニハ初メニ云ハサハ

ヲ得スト云ヒ事件ノ違ヒハソノ裁判ノ終リマ
テハ云フコトヲ得ルト云
オ三ノ違ヒハ原被告ニ檢事ヨリ云ハサレハ裁
判所ニテ之レヲ云フ
オ百七十條

若シ本人之レヲ求メサル云々ハ原文ニハ若シ
之レヲ求メサルレキハト書イテ誰ト云フコトヲ
省イテナレ之レハ法律ノ欠ケナリ

余ハ原被告并檢事ト書クヘシト思フ候シ誰レ
ト書カストモ害ハナレシ
何トナレハ檢事ハ公益ニ関スルコトハ皆ナクフ
モノナレハナリ

只今説ク所口ハ人ノ違ヒ事件ノ違ヒノニツナ
司法省

後ノニツハ法律ニ欠ケテアルコト前ヨリ甚シ
オ百七十條ヲ云フ

訴訟法ヲ編ムヘシト云フトキハ裁判官代官人
并ニ生徒ノ方ノニ此邊ヲモ了解シ易キ様ニ記
スヘシト思フナリ

八

司法省

〽

〽

第廿五号

訴訟法會議筆記

七年十二月廿五日

司法省

七年十二月廿五日

過日ニツノトニ付テ一ツノ裁判所ヨリ他ノ裁判所へ送ルトヲ説キタリ

第一ニハ人ニツイテ裁判所ノ管轄ノ違フコトナリ

第二ニハ事ケンニ付テ裁判所ノ権ニテ違フコトナリ

初ノ人ニ付テ裁判所管轄ノ違フトハ被告人ノ住所ニ呼出スヘキモノヲ他ノ裁判所へ呼出シタルトキナリ

又一ツハ物件所在ノ地ノ裁判所へ呼出スヘキモノヲ他ノ裁判所へ呼出シタルトキ人ニ付テノ権外ト云フコトナリ

司法省

人ニ付テノ権外ハ全ク其人ノ益ニテ私益ナリ仍テ其人ヨリ外ハ権外ノトヲ訴フルトヲ得ス

第二ノ訴訟事件ニ付テ裁判所ノ権ノ違フトハ原被告ニ檢査ヨリ訴ヘサルベカラス

若誰ヨリモ訴ヘサルキハ裁判所ヨリ公然申渡シテ可ナリ

事件ニ付テノ権外ノ事ハ裁判ノ始マリヨリ終リ迄テニ訴ヘテカナリト重氏人ニ付テノ権外ノトハ始メニ訴ヘサレヘカラス枕ニツノトヲ説キ殘シタリ才一ニ既ニ一ツノ裁判所ニ於テ起リテアルト第二ニツノ訴訟ニ添タル訴訟ノトハ未夕説カスリチスパンタンル許

訟ノ下起ツテ居ルト云フコトナリ精シクイヘ
ハ一ツノ裁判所ニ於テ訴訟ノ起リテアル最
中ト云フコトナリ

既ニ一ツノ裁判所ニ訴ヘタルコトヲ又他ノ裁判
所ヘ訴フルトキハ一ツノ事柄ニシテ種々ノ
裁判トナルナリ

此ノ如キ不都合ハ避ケサルヘカラス同事件ノ
訴ヲニツノ裁判所ヘ訴フルハ意外ノコト思
ハル、ト云ヒマ、アルコトナリ

人權ト物權ト相混シタル訴訟ハ何レニ於テ訴
ラカストモ可ナルニ付テハ一方ノ裁判所ヘ
訴ヘ意ノ如クナラサルトキハ又一方ノ裁判
所ヘ訴フルコトナリ

司法省

被告人數人アルトキ一ツノ裁判所ヘ訴ヘ出テ
タル上他ノ原告人ノ意ヲ以テ更ニ他ノ裁判
所ヘ訴フルコトナリ

原告人ニテ被告人ヲ相当ノ裁判所ヘ呼出サス
ニ他ノ裁判所ヘ訴ヘ出テタルトキ故障ヲ云
ハサルコト以テ既ニ裁判ヲ仕掛ケタリシカル

ニ原告人サラニ相当ノ裁判所ヘ訴ヘタリ
之レ一事件ヲニツノ裁判所ヘ訴フル場合
ナリ

此時ノ故障ヲ述ヘサルヘカラス其故障ハ何時
ニ速フルトナルニ法律ニ於テハ一ツモ其代
ヲ云ヒタルモノナリ

之トヨリ一事件ヲニツノ裁判所ニ訴フルハ人

民法益ヲ害トナル事ニハ成リ大ケ防カサル
ヘカラス仍テ前ニ云フ如ク原告人并ニ檢
事ニテ訴ヘテ宜シカルヘシ万一此三人ノ云
ハサル所ハ裁判所ニテ言渡シテヨロシト思
フナリ

故障ヲ云フ時間ハ始メノ訴ノ起ルヨリ裁判ノ終
ルマテハ速テ若シカラスト思フナリ

問 右ノ場合ニ於テ裁判所ニテ氣ノ付カサル
トキハ如何

答 既ニ一ツノ裁判所ニテ裁判ヲ仕掛ケタル
モノヲ此裁判所ヘテ来リタルトキ裁判
所ニテ氣ノ付キタル所ハ直ニ其仕掛ケタル
裁判所ヘ移スナリ

司法省

一ツノ裁判ノ始マリ居ルモノハ牽連スヘキモ
ノヲ説カントスヤ、前ノコトニ似タルコト
ナリ

今マテ説キタルモノハ全ク一ツノ事件ナリ今
説ク所口ハ牽連シタルモノニテ之レヲ高シ
テ裁判スルトキハ甚タ不都合ナリモノナ
リ

タトヘハ東京ノ裁判所ニ於テ貸金ノ元金ノ
ヲ訴ヘ又ソノ利金ノコトヲ大坂ノ裁判所ヘ訴
ヘタリ

右ノ如ク利金ノコトヲ高シテ訴フルハ不都合ナ
ルナリ元来元金ナケレハ利金アルナシ然ル
ニソノ訴ヲ大坂ニテ知ラスシテ受理スルト

スルトキハ元利ノ裁判區ニナリテ不都合ナ
リ
又一例ヲ舉リ

コトニ一ツノ契約ヲ為スニ一方ハ丁年一方ハ
幼年ナリソノ丁年者ニテソノ義務ノ執行ヲ
東京裁判所ニ訴ヘタリ然ルニ幼年ノモノニ
テハソノ契約ノ取消ヲ大坂ノ裁判所ヘ訴ヘ
タリソノ時丁年ハ東京裁判所ニテ勝チ幼年
ハ大坂裁判所ニテ勝チタリ之レハ相牽連シ
タルモノユヘニツノ裁判所ニテ受理スルハ
不都合ナリ人民ノ公益ヲ害スル許多ナリ今
ノ義務ヲ東京裁判所ヘ訴ヘタルトキハ之レ
ヲ行ヘト裁判シ大坂裁判所ヘハ取消ヲ訴ヘ

司法省

タルニ付キ取消ノ裁判ヲ為ス
元利ノトニ付テモ同シ元金ノトヲ東京裁判所
ヘ訴ヘソノ金ヲ払フヘト裁判シ大坂裁判
所ニテハ此金ハ既ニ払ヒタルニ付利金ヲ払
フニ及ハスト裁判スルナリ仍テ不都合トナ
ルナリ之レハ必ラス同一ニ裁判スヘト云
フニハアラス氣ノ付キタルトキハ同一ニナ
スヘキナリ

此ノ牽連ノ訴訟ハ誰レヨリ訴ヘテ可ナルヤ
被告人ハ元ヨリ便利ナルトナルユヘ必ラス為
スベシ併シ被告人ノ氣付カサルトキハ原告
人ニテ之レヲ為ス併シ造意ニテ原告ノ言ハ
サルトモアルヘレソノトキハ檢査之レヲ言

フヘシ

其故障ヲ速フル期限ハ始メヨリ終リマテ言フ
コトヲ得ヘシ

第百七十一條ニハ誰ヨリ何時マテニ之フトハ
書イテナシト雖人民ノ公益ニカ、ルコト
ルコトハ前條ト同シキモノト見做スコトヲ得ル
ナリ

第百七十一條

牽連シタル訴訟ハ自然同一ノ裁判所へ出テ居
ルモ料ルヘカラス

タトヘハ東京裁判所ノ第一局ニ元金ノコトヲ訴
ヘソノ才二局ニ利金ノコトヲ訴ヘテ居ルヤモ
知ルヘカラス

司法省

第百七十條ハ書キ方ヨロシカラス

又ハ之以下ノコトハ同裁判所ニテ起ルモ又他
ノ裁判所へ起ルカモ知ルヘカラス故ニコノ
如ク書キテハヨロシカラス

今日東京裁判所へ元金ノ訴ヘテ又一月
ヲ過キテソノ利金ノ訴ヲ為スコトアルヘ
シ

其代ハ初メ其元金ノコトヲ扱セタル局へ送ラサ
ルヘカラス

タトヘハ甲乙ノ家ヲ借リタリ然ルニ大風ニテ
破レタルニ付キ甲ヨリソノ修覆ノコトヲ訴ヘ
タルニ乙ニテハソノ大風ノ代甲ノ住居セサ
ル間ノ家賃ヲ訴ヘタリ事柄ハ違ヒタリトモ

相牽連スルモノナリ

此條ノ末文ニ訴ヲ為スルヲ得ヘシトアリ之レハ義務ニアラス願ヒテヨロシキナリ
我カ論スル所ハ誰ヨリ願フルヲ書イテナキキ付キ原被告檢査ヨリ願ヒテ可ナリト増補スヘシ更ニ何時ヨリ何時迄ハ願ヒテ可ナリト其限ヲ書カサル人カラス

同事件ニシテ二ツノ裁判所ニテ起リタルコトヲ説カントス

若シソノ隻件控訴ノ為スルヲ得ルトキハ控訴ヲ以テ之レヲ補フヘシ
二ツノ裁判言渡ニ於テ一ツノ方ハ控訴ニ一ツノ方ハ控訴セス

司法省

東京裁判所ニテ裁判ノ受ケタルモノ控訴ヲ為シテ又負ケタリ

大坂ノ原告人ニテ大坂裁判所へ訴ヘタリシカルニソノ原告人ハ負ケタリ之レハ控訴セ

ス
以上ノコトヲ更ニ言ヒ直サントス

同一ノ隻件ニシテ東京大坂ノ兩裁判所へ訴ヘタリソノトキ甲ハ原告人ニテ乙ハ係リテ訴ヲ為シ勝チタリ乙ハ控訴シテ又負ケタリ甲ハ大坂裁判所へ訴ヘテ負ケタリ而シテ控訴セ

東京ノ被告人ハ東京ノ上等裁判所へ訴ヘテ負

ケタリ甲ハ大坂ノ上等裁判所へ訴へテ又負
ケタリ

然ルニ双方トモニ故障ヲ言ハスニテ止ミタ
リ

其時裁判ハ一方ニテ始マリテアルトモ氣付ク
氏ハ害ナシ

然ルニ何レ氏氣付カスニテ居リタリ

東京ニテ控訴シタルニツキ尤ヨリ確定ノ裁判
トナリテ動カスヘカラサルモノナリ大坂モ

確定ナリ

両方トモ確定ニシテ及対ナリ之レヲ補ハサル
ヘカラス

若シ控訴スヘカラサル事柄ニシテ此ノ如ク及

司法省

対スルトキハ速カニ補ハサルヘカラス

其補ヒハ訴訟法第五百四條ニアリ

ソノトキニハ初告裁判所ノ言渡ニモセヨ控訴
裁判所ノ言渡ニモセヨ之レヲ覆審院へ出ス

ナリ

ソノ時ハ覆審院ニテ之レヲ双方トモニ破毀ス
ルナリ

而シテ後双方ノ關係セサル他ノ裁判所へ移レ
テ更ニ裁判ヲナスナリ

以下牽連シタルトモ説カントス

牽連シタル裁判モ上等裁判所ニテ補フトモ得
カレキハ覆審院ニテ破毀ス

若シ同一ノ裁判所ニテ各異ノ裁判ヲナシタル

トキハ「レケート」トシヒル「ヲ」スレテ却テ「ノ」裁判
所へ願フナリ

訴訟法第四百八十條ノオ六ニアリ

レケートトシヒルトハ丁寧ニ願フト云フ意ナリ

敬慎ノ願書ト云フ傲慢ナラスレテ恭敬ヲ尽

スコナリ別ニ一局アルニアラス

之レ裁判ヲ取直ス非常ノ道ナリ

第七十二條

之レハ故障ヲ申立タルトキハ直チニ之レヲ裁

判セサルヘカラサルヲ云フ

ソノ他ノ難変ノ起リタルトキハ之レヲ取調ヘ

テ裁判ヲ為サント云フト虽氏此故障ニ至リ

テハ直チニ之レヲ止ムルトモ又續イテ裁判

司法省

スルトモ一方ニ決ス

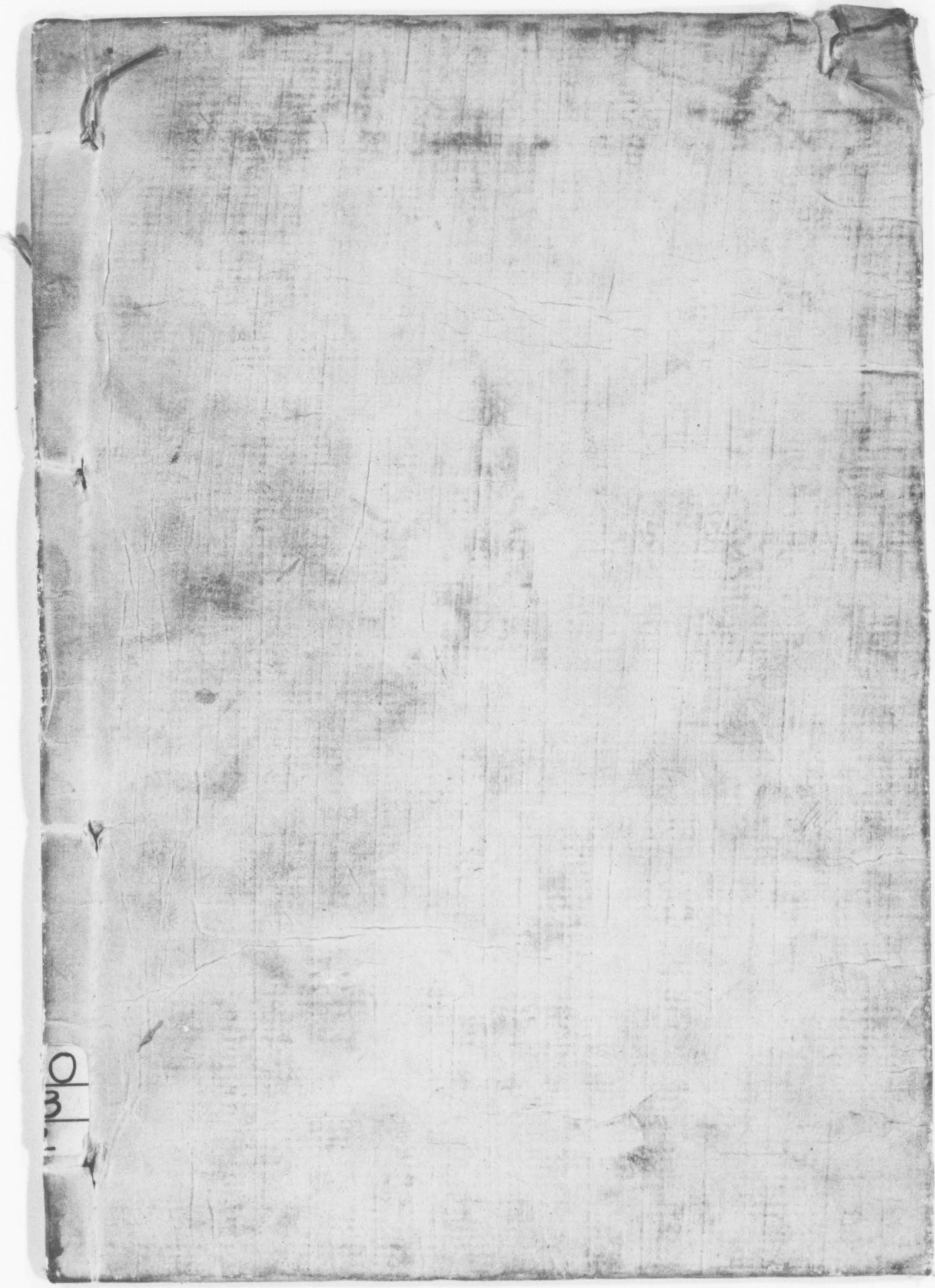
タトヘハ初ノ代書師ニテ始末書ヲ出シタル上

更ニ申立アルトキハ初ノ始末書ノ事ト後

ノ申立トテ一回ニ裁判スルト虽モ此故障ハ

直チニ裁判セサルヘカラス

四
五
六



30